

I 市 町 財 政 の 状 況

令和2年度
県内市町決算見込み（普通会計）
及び健全化指標

1 決算収支

全体の傾向としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、経常的な歳出が減少（受診控えによる医療費助成の減、各種行事等の中止による事業費の減等）し、実質収支が大幅に増加。

また、収支の改善等により、財政調整基金の取崩しが減（前年度比▲87億円）となったため、実質単年度収支も大幅に増加。

・実質収支：341億円の黒字（対前年度比 +101億円）

- ・昭和52年度以降、44年連続の黒字
- ・全団体に黒字（前年同様）

黒字最大：①姫路市（48.6億円）、②西宮市（47.5億円）、③明石市（20.3億円）

黒字最小：①三木市（0.9億円）、②洲本市（1.0億円）、③市川町（1.5億円）

・実質単年度収支：150億円の黒字（対前年度比 +188億円）

- ・28団体黒字（前年度18団体）、13団体赤字（前年度23団体）

黒字最大：①尼崎市（53.6億円）、②西宮市（44.4億円）、③明石市（15.3億円）

赤字最大：①神戸市（▲43.0億円）、②姫路市（▲18.4億円）、③播磨町（▲5.1億円）

2 決算規模

令和2年度の県内市町（29市12町）の決算規模は、前年度に比べ、歳入では、特別定額給付金に係る補助金の増設等による国庫支出金の増及び減収補てん債の対象税目の拡充等による地方債の増等により、7,322億円の増（+28.5%）。

歳出では、特別定額給付金給付事業等による補助費等の増及びごみ処理施設整備、文化ホール整備等の普通建設事業費の増等により、7,070億円の増（+28.0%）となった。

〔歳入：3兆3,006億円（対前年度比 +7,322億円、+28.5%）
歳出：3兆2,297億円（対前年度比 +7,070億円、+28.0%）〕

3 歳入のポイント

① 地方税 9,420億円（対前年度比 ▲109億円、▲1.1%）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による法人収益の減及び令和元年10月1日以降に開始する事業年度分からの法人税率の引き下げが通年化したことによる市町村民税法人税割の減（▲132億円）等により減少。

② 地方交付税等 3,939億円（対前年度比 ▲62億円、▲1.6%）

- ・消費税・地方消費税の引き上げや固定資産税の増等による基準財政収入額の増が、幼児教育・保育の無償化に要する経費の増等に伴う基準財政需要額の増を上回ったこと等により減少。

③ 地方譲与税・交付金等 1,673億円（対前年度比 +185億円、+12.4%）

- ・令和元年度に限り交付された子ども・子育て支援臨時交付金が皆減（▲78億円）したものの、地方消費税交付金の平年度化に伴う増（+205億円）、法人事業税交付金の増設による増（+62億円）等により増加。

④ 国庫支出金 11,007億円（対前年度比 +6,700億円、+155.6%）

- ・特別定額給付金に係る国庫補助金（+5,562億円）、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（+597億円）等の増設による増等により大幅に増加。

⑤ 県支出金 1,670 億円 (対前年度比 +88 億円、+5.6%)

- ・幼児教育・保育の無償化の平年度化に係る子どものための教育・保育給付県費負担金等の増 (+26 億円)、新型コロナウイルス対策に係る県支出金の増 (+63 億円) 等により増加。

⑥ 地方債(臨時財政対策債除く) 2,179 億円 (対前年度比 +490 億円、+29.0%)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、R2 年度限りで拡充された減収補てん債 (+83 億円)に加え、公共施設等適正管理推進事業債 (+73 億円)、一般廃棄物処理事業債 (+58 億円)、旧合併特例事業債 (+54 億円)、防災対策に係る地方債 (+126 億円) の増等により増加。

(単位：億円、%)

区 分	令和2年度		令和元年度		増減額 c (a-b)	増減率 (c ÷ b × 100)
	a	構成比	b	構成比		
1 地方税	9,420	28.5	9,529	37.1	▲ 109	▲ 1.1
うち市町村民税法人税割	398	1.2	530	2.1	▲ 132	▲ 24.9
うち市町村民税所得割	3,553	10.8	3,522	13.7	31	0.9
うち固定資産税	3,910	11.9	3,909	15.2	1	0.0
2 地方交付税等	3,939	11.9	4,001	15.6	▲ 62	▲ 1.6
地方交付税	3,077	9.3	3,087	12.0	▲ 10	▲ 0.3
臨時財政対策債	863	2.6	914	3.6	▲ 51	▲ 5.6
3 地方譲与税・交付金等	1,673	5.1	1,488	5.8	185	12.4
うち地方消費税交付金	1,138	3.5	933	3.6	205	22.0
4 国庫支出金	11,007	33.4	4,307	16.8	6,700	155.6
うち特別定額給付金に係る補助金	5,562	16.9	0	—	5,562	皆増
5 県支出金	1,670	5.1	1,582	6.2	88	5.6
6 地方債(臨時債除く)	2,179	6.6	1,689	6.6	490	29.0
7 その他	3,118	9.5	3,088	12.0	30	1.0
歳入合計	33,006	100.0	25,684	100.0	7,322	28.5
一般財源(1~3)	15,032	45.5	15,018	58.5	14	0.1
特定財源(4~7)	17,974	54.5	10,666	41.5	7,308	68.5

※ 端数処理により、表内合計が一致しない場合がある (以下同じ)

4 歳出のポイント

① 義務的経費 1兆4,029 億円 (対前年度比 +537 億円、+4.0%)

- ・会計年度任用職員導入による人件費の増 (+301 億円)、子育て世帯・ひとり親世帯への臨時特別給付金給付事業等の実施に伴う扶助費の増 (+230 億円) 等により増加。

② 投資的経費 3,724 億円 (対前年度比 +509 億円、+15.8%)

- ・緊急防災・減災対策事業等の防災対策に係る事業の増 (+126 億円)に加え、個別団体で大規模投資(広域ごみ処理施設整備事業(加古川市、高砂市、稲美町、播磨町)の増(+154 億円)、文化コンベンションセンター整備事業(姫路市)の増(+110 億円)等)を行ったことによる普通建設事業費の増(+579 億円)により増加。

③ その他経費 1兆4,544 億円 (対前年度比 +6,024 億円、+70.7%)

- ・特別定額給付金給付事業(1人10万円の特別定額給付金の給付)の実施に伴う補助費等の増(+5,957 億円)等により大幅に増加。

(単位：億円、%)

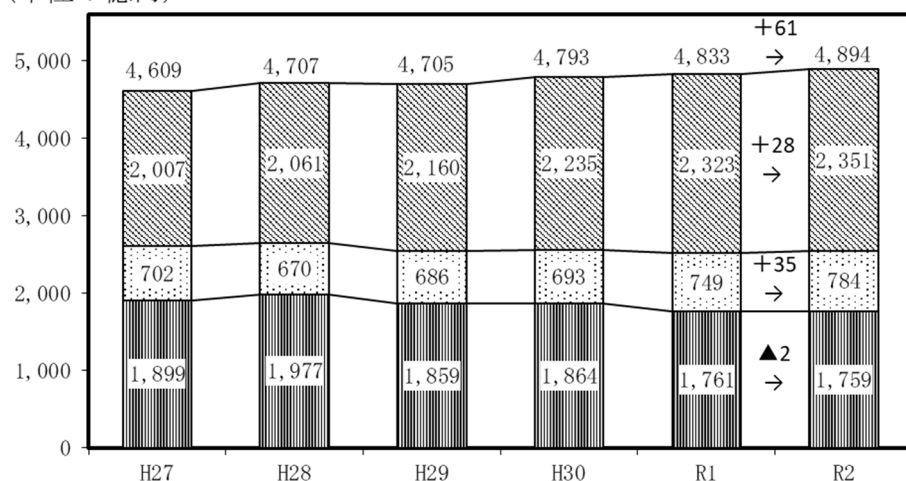
区 分	令和2年度		令和元年度		増減額 c (a-b)	増減率 (c ÷ b × 100)
	a	構成比	b	構成比		
1 義務的経費	14,029	43.4	13,492	53.5	537	4.0
人件費	4,796	14.9	4,495	17.8	301	6.7
扶助費	6,373	19.7	6,143	24.4	230	3.7
公債費	2,860	8.9	2,854	11.3	6	0.2
2 投資的経費	3,724	11.5	3,215	12.7	509	15.8
普通建設事業費	3,650	11.3	3,071	12.2	579	18.9
うち補助	1,504	4.7	1,140	4.5	364	31.9
うち単独	2,042	6.3	1,831	7.3	211	11.5
災害復旧事業費	74	0.2	144	0.6	▲70	▲48.6
3 その他経費	14,544	45.0	8,520	33.8	6,024	70.7
うち補助費等	8,214	25.4	2,257	9.0	5,957	263.9
うち特別定額給付金事業	5,562	17.2	0	—	5,562	皆増
歳出合計	32,297	100.0	25,227	100.0	7,070	28.0

5 基金残高

4,894 億円 (対前年度比 +61 億円、R1 末 4,833 億円)

- ・一部の市町において、新型コロナウイルス感染症対応の事業実施のため大幅に取崩しを行ったことにより、全体として財政調整基金が減少 (▲2 億円)
- ・将来の公債費負担増加を見据えた積立等により、減債基金が増加 (+35 億円)
- ・ふるさと納税を原資とする積立、将来の公共施設整備のための積立の増等により、その他特定目的基金が増加 (+28 億円)

(単位：億円)



■ その他特目基金
□ 減債基金
■ 財政調整基金

<R2財政調整基金積立の多い団体>

区 分	積立額
1 尼崎市	2,475百万円
2 芦屋市	403百万円
3 高砂市	334百万円

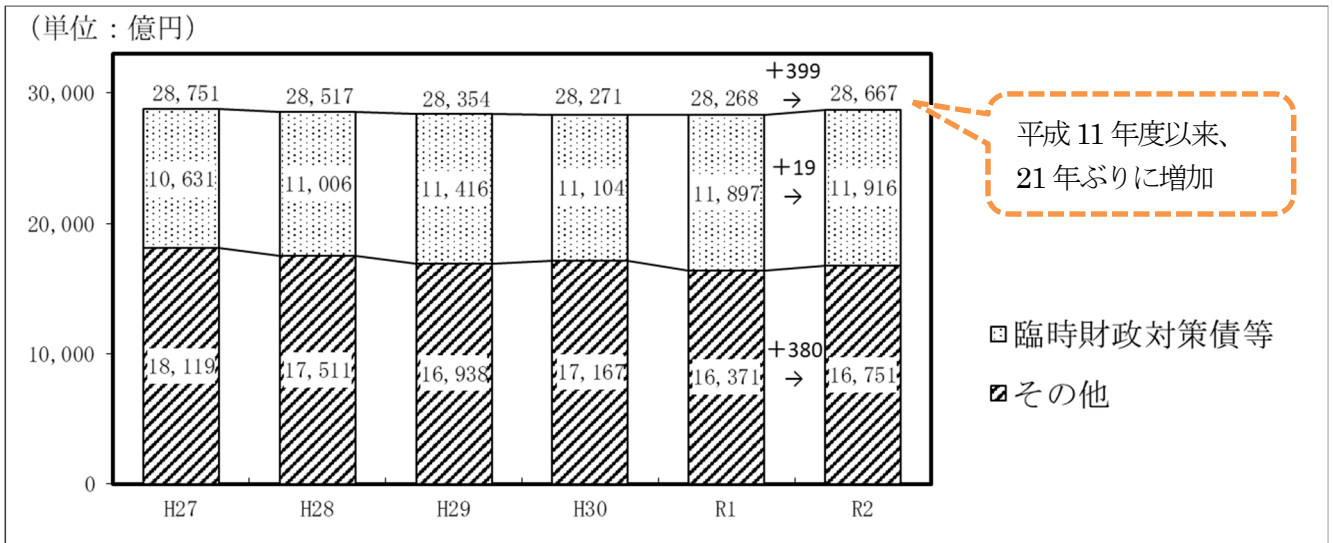
<R2財政調整基金取崩しの多い団体>

区 分	取崩し額
1 神戸市	3,276百万円
2 伊丹市	888百万円
3 姫路市	794百万円

6 地方債残高

2兆8,667億円（対前年度比 +399億円（R1末 2兆8,268億円））

- ・ 防災対策等への積極投資による地方債発行額の増加（+439億円）等により、発行額が償還額を上回ったため、全体で399億円増加
- ・ 平成11年度（4兆503億円）をピークに減少傾向が続いていたが、21年ぶりに増加

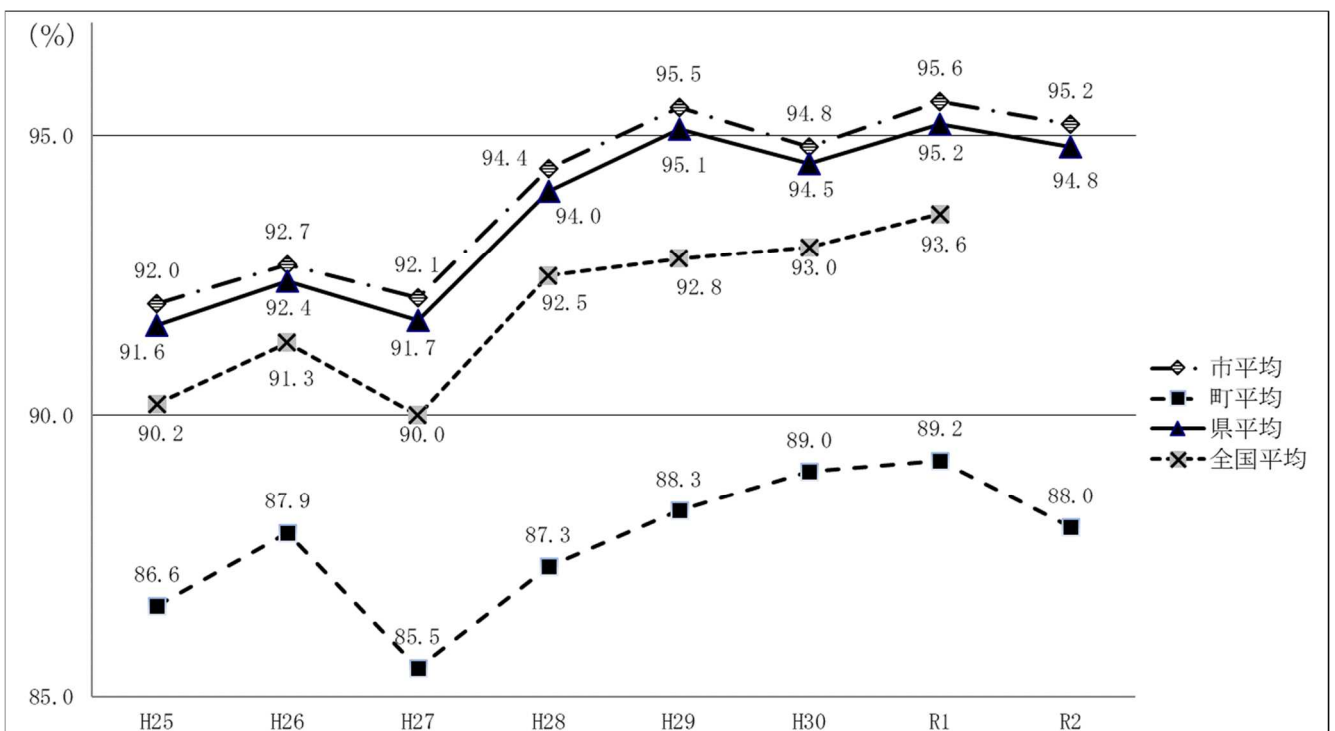


7 財政指標

(1) 経常収支比率

94.8%（対前年度比 ▲0.4ポイント、R1 95.2%）

人件費等の経常経費は増加（+16億円）した【分子】ものの、地方消費税交付金、法人事業税交付金等の経常一般財源等も増加（+85億円）した【分母】ことから、経常収支比率は平均94.8%となり、前年度から0.4ポイント減少



※ 各平均値については、加重平均

以下の健全化判断比率は、令和2年度決算に基づく各市町の算定結果を速報値としてとりまとめたものであり、今後、変動する可能性がある

(2) 健全化判断比率【別紙1】

① 実質赤字比率及び連結実質赤字比率

赤字団体はなし

② 実質公債費比率

- ・早期健全化基準（25%）以上の超過団体はなく、24団体で改善、14団体で悪化、3団体で据置
- ・全体の傾向として、繰上償還等による元利償還金の減、公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金の減、組合が発行した地方債への補助金又は負担金の減等により、比率は逡減（対前年：▲0.4ポイント）
- ・R元年度決算で地方債許可団体となっていた上郡町も18%未満に改善し、地方債許可団体（18%以上）はなし（指標公表開始（H19年度決算分）以来、初めて）

③ 将来負担比率

- ・早期健全化基準（350%）以上の超過団体はなく、28団体で改善、11団体で悪化、2団体で据置
- ・全体の傾向として、新発債の抑制や繰上償還等による地方債現在高の減、公営企業債の償還財源への充当繰入見込額の減等により、比率は逡減（対前年：▲4.4ポイント）

④ 資金不足比率（算定式：資金不足額（流動負債－流動資産）/事業の規模）【別紙2】

- ・経営健全化基準（20%）以上の超過団体はなし。
- ・資金不足が生じているのは、3事業（病院2事業、交通1事業）であり、昨年度より3事業（病院）減となった。

【実質公債費比率の高い団体の状況】

（単位：％）

団体名	R2年度 A	R1年度 B	増減 A－B	主な増減理由
1 上郡町	17.1	18.4	▲1.3	・財政調整基金を財源とする繰上償還や臨時地方道整備事業債の償還終了等による元利償還金の減（▲1.3億円） ・播磨高原広域事務組合等の起こした地方債の償還進捗等による、当該償還財源に充てたと認められる補助金又は負担金の減（▲0.8億円）
2 丹波篠山市	15.6	17.2	▲1.6	篠山中学校移転改築事業に係る合併特例債の償還終了や新規市債発行の抑制等による元利償還金の減（▲9.5億円）
3 淡路市	14.9	14.5	+0.4	・交付税措置の有利な地方債（過疎対策事業債等）の償還終了に伴う基準財政需要額算入公債費の減（▲3.5億円） ・合併算定替終了による普通交付税額の減（▲9.1億円）

※ 実質公債費比率は3年平均であるため、「主な増減理由」はR2年度とH29年度の単年度増減比較で記載

【将来負担比率の高い団体の状況】

(単位：%)

団体名	R2年度 A	R1年度 B	増減 A-B	主な増減理由
1 上郡町	164.8	179.6	▲14.8	・下水道事業等に係る企業債現在高の減等による公営企業債等繰入見込額の減 (▲4.8億円) ・一部事務組合において新規地方債発行を抑制したことによる組合負担見込額の減 (▲2.5億円)
2 淡路市	140.9	157.5	▲16.6	・行財政改革による節減費を財源とした繰上償還による地方債現在高の減 (▲13.8億円) ・下水道事業等に係る企業債現在高の減による公営企業債等繰入見込額の減 (▲11.5億円)
3 丹波篠山市	133.4	160.1	▲26.7	下水道事業等に係る企業債現在高の減等による公営企業債等繰入見込額の減 (▲35.4億円)

8 県内市町のふるさと納税受入額と住民税控除額の状況【別紙3】

各市町が地域の特徴を活かした取組を行ったことで、県内市町の受入額は、対前年度比+78.9%と全国平均(+37.9%)を大幅に上回った。

(単位：百万円)

区分	R2年度 受入額①	R1年度 受入額②	増減額 ①-②	(増減率) (①-②)/②	R3年度 住民税控除額③	差引 ①-③	(参考)交付税措置後※
市	20,733	10,960	+9,773	+89.2%	13,828	6,904	16,739
町	1,974	1,730	+244	+14.1%	338	1,637	1,890
合計	22,707	12,690	+10,017	+78.9%	14,166	8,541	18,629

※ 交付税措置後は、R3年度住民税控除額③に対する交付税措置額(75%)を考慮した額

9 地方公営企業の決算状況

(1) 全般

・県内市町公営企業(全263事業)で、黒字:190事業、赤字:73事業となっており、前年度と比べて黒字事業数が5事業、黒字割合は1.9ポイント増加。
・事業別では、上水道及び下水道事業で約7割が黒字決算となっているが、病院事業は23事業のうち半数近い10事業が赤字決算となるなど、事業毎に経営状況が異なっている。

【県内の地方公営企業黒字事業数(地方独法含む。以下同じ。)]

区分	R2		R1		R2-R1	
	うち黒字	黒字割合	うち黒字	黒字割合	うち黒字	黒字割合
法適用	218	68.3%	201	64.2%	+17	+4.1
法非適用	45	91.1%	62	90.3%	▲17	+0.8
合計	263	72.2%	263	70.3%	±0	+1.9

※ 法適用とは、地方公営企業法の全部又は財務規定を適用している事業であり、経理事務を企業会計方式で行っているもの。法非適用とは、経理事務を官庁会計方式で行っているもの

※ 黒字・赤字は、法適用事業にあつては経常損益、法非適用事業にあつては収益的収支の額

【主要な事業毎の黒字・赤字事業数】

区 分	R2			R1			R2-R1					
	黒字	赤字	黒字割合	黒字	赤字	黒字割合	黒字	赤字	黒字割合			
上水道	41	31	10	75.6%	41	34	7	82.9%	±0	▲3	+3	▲7.3
下水道	121	91	30	75.2%	121	88	33	72.7%	±0	+3	▲3	+2.5
交通	3	0	3	0.0%	3	2	1	66.7%	±0	▲2	+2	▲66.7
病院	23	13	10	56.5%	23	8	15	34.8%	±0	+5	▲5	+21.7
その他	75	55	20	73.3%	75	53	22	70.7%	±0	+2	▲2	+2.6
合 計	263	190	73	72.2%	263	185	78	70.3%	±0	+5	▲5	+1.9

※ その他（75事業）の内訳

簡易水道事業(2)、工業用水道事業(7)、電気事業(2)、港湾事業(1)、市場事業(8)、と畜場事業(4)、観光・その他事業(7)、宅地造成事業(17)、駐車場事業(6)、介護サービス事業(8)、その他事業(13)

(2) 病院事業【別紙4】

全体の傾向として、新型コロナウイルス感染症の影響により、入院患者数・外来患者数が減少し、入院収益及び外来収益が悪化したものの、診療報酬加算の取得や新型コロナウイルス感染症患者の受入れに伴う各種補助金収入の増加により、経常収益は前年度より増加（+113億円）。

経常費用は、感染症対応に伴う職員手当や委託費が増加した一方、材料費の減少等によって全体の増幅額が抑えられ、微増（+21億円）。これらにより、経常損益が93億円改善した。

なお、新型コロナウイルス感染症関連の補助金収入を除くと経常損益は赤字であり、事業経営は依然として厳しい状況が続いている。

・経常収益

- ・経常収益は2,536億円で、前年度に比べ、113億円増加（+4.7%）
- ・うち入院収益は1,312億円で、前年度に比べ、80億円減少（▲5.7%）
- ・うち外来収益は625億円で、前年度に比べ、24億円減少（▲3.7%）

・経常費用

- ・経常費用は2,482億円で、前年度に比べ、21億円増加（+0.9%）

・経常損益

- ・経常損益は54億円の黒字で、前年度（39億円の赤字）に比べ、93億円の改善

【県内市町立病院収支】

(単位：億円、%)

区 分	R2	R1	R2-R1	増減率
経常収益	2,536	2,423	113	4.7%
うち入院収益	1,312	1,392	▲80	▲5.7%
うち外来収益	625	649	▲24	▲3.7%
経常費用	2,482	2,461	21	0.9%
経常損益	54	▲39	93	黒字転換

【参考】令和2年度決算主要指標（普通会計） 市町別一覧表

(単位：百万円、%)

団体名	歳入総額		歳出総額		実質収支	実質単年度収支	基金残高		地方債現在高		経常収支比率		標準財政規模 (臨時財政対策債 発行可能額含む)	
	増減率	金額	増減率	金額			増減率	うち 財政調整基金	増減率	金額	増減率	金額		増減
1神戸市	23.7	1,064,735	23.0	1,043,420	300	▲ 4,298	▲ 7.4	8,254	▲ 28.4	1,137,676	2.6	99.0	▲ 0.3	443,143
2姫路市	34.1	295,466	35.4	285,146	4,856	▲ 1,840	▲ 12.5	13,521	▲ 5.5	208,407	3.8	87.2	▲ 0.1	122,771
3尼崎市	28.4	259,808	28.0	258,034	458	5,360	21.8	9,430	35.6	224,807	▲ 3.2	97.4	0.0	101,766
4明石市	38.2	147,553	37.0	145,289	2,026	1,529	1.8	9,242	2.1	120,270	0.8	94.2	▲ 0.3	62,890
5西宮市	36.2	239,348	34.3	234,279	4,749	4,437	4.5	17,864	1.7	137,394	0.9	97.3	▲ 2.3	97,788
6洲本市	40.3	36,388	41.4	36,204	103	▲ 154	25.3	2,573	0.6	29,574	▲ 3.4	92.6	▲ 1.0	12,906
7芦屋市	36.9	57,156	36.4	54,912	1,601	1,138	3.8	7,771	5.5	53,322	5.5	96.9	0.6	24,022
8伊丹市	36.4	104,259	36.0	102,533	1,173	271	15.1	4,969	▲ 15.2	60,795	2.3	93.2	▲ 1.7	43,000
9相生市	24.2	16,550	24.3	16,138	371	▲ 68	▲ 2.3	1,467	▲ 9.3	12,693	▲ 6.2	99.2	▲ 0.2	8,312
10豊岡市	21.8	59,352	22.1	57,611	1,210	279	1.0	5,331	6.5	48,888	▲ 5.5	94.9	1.6	27,738
11加古川市	39.4	120,680	39.2	119,699	274	▲ 222	0.2	6,504	▲ 3.7	78,629	6.7	93.8	▲ 0.2	50,718
12赤穂市	23.9	25,728	22.6	25,344	269	328	10.4	3,758	14.2	30,011	▲ 1.2	81.3	▲ 4.1	12,832
13三穂市	52.3	31,373	50.7	30,945	171	▲ 115	▲ 3.0	4,926	▲ 4.4	24,259	20.4	90.4	▲ 2.7	11,872
14宝塚市	31.5	104,420	30.8	102,443	1,513	1,266	7.4	5,660	4.7	72,021	▲ 1.3	95.4	▲ 1.5	45,282
15三木市	29.3	41,287	29.0	41,010	92	▲ 168	▲ 10.1	2,436	▲ 8.8	38,145	▲ 0.3	94.7	0.5	18,952
16高砂市	42.4	57,829	41.4	56,433	1,114	781	8.1	3,550	10.4	41,314	5.9	90.6	2.1	21,245
17川西市	25.3	72,022	24.9	71,146	756	415	4.8	1,369	4.9	72,700	0.5	95.7	▲ 0.6	31,834
18小野市	5.7	26,436	4.9	25,646	392	▲ 36	8.6	4,425	5.5	21,695	0.6	90.7	▲ 0.8	11,571
19三田市	34.7	50,713	34.8	49,846	472	206	10.9	3,530	9.8	33,581	▲ 2.8	94.2	0.2	23,615
20加西市	36.9	31,619	36.0	30,583	695	511	51.5	2,020	9.5	20,188	1.6	93.9	0.1	11,933
21丹波篠山市	13.1	28,101	13.3	27,625	439	90	4.9	1,693	11.6	19,450	1.9	92.2	▲ 2.9	14,022
22養父市	30.2	24,525	32.3	23,697	759	▲ 2	▲ 3.5	2,742	6.2	16,126	2.8	90.2	1.1	11,675
23丹波市	13.5	42,469	13.4	40,477	1,632	434	1.7	5,490	0.3	35,586	▲ 4.2	91.6	2.5	20,459
24南あわじ市	18.4	32,874	18.9	32,094	661	573	6.5	2,893	3.0	31,319	▲ 3.7	93.2	0.0	16,015
25朝来市	8.6	24,813	7.8	23,751	784	301	3.4	3,511	10.2	20,491	▲ 7.4	89.1	▲ 0.9	12,707
26淡路市	17.1	34,804	16.8	34,377	218	545	▲ 2.6	2,862	▲ 2.8	38,517	▲ 3.5	92.0	1.7	16,808
27中央市	17.2	30,000	17.8	29,038	840	1,295	4.7	2,868	5.6	30,309	▲ 2.5	91.4	▲ 2.1	14,911
28加東市	30.3	24,967	31.3	24,262	618	175	4.0	6,029	4.2	21,781	▲ 2.1	88.6	▲ 0.3	12,043
29たつの市	35.2	49,115	34.6	47,490	1,203	632	▲ 3.1	5,809	▲ 4.8	41,686	6.0	87.7	▲ 0.3	21,539
30猪名川町	26.8	14,807	26.1	14,435	335	▲ 213	▲ 10.4	1,404	▲ 19.5	8,594	5.4	86.9	▲ 3.3	6,909
31多可町	21.6	14,247	19.9	13,827	372	392	1.5	2,999	2.6	13,822	▲ 5.4	91.4	0.0	7,407
32稲美町	30.7	15,588	30.8	14,744	570	▲ 90	▲ 4.4	5,906	▲ 4.4	10,400	5.7	86.4	1.3	6,984
33播磨町	46.8	17,911	48.7	16,463	702	▲ 507	▲ 11.3	2,865	0.0	10,430	12.6	92.1	▲ 2.7	7,113
34市川町	34.8	7,993	33.5	7,834	151	99	6.5	1,463	0.1	6,602	5.4	86.6	▲ 2.4	3,716
35福崎町	19.4	10,466	19.1	10,194	246	101	1.2	1,309	0.4	11,571	▲ 1.9	88.4	3.9	5,451
36神戸河町	14.2	10,317	12.9	10,025	278	225	2.2	1,388	6.9	13,537	1.7	91.8	▲ 5.0	5,187
37太子町	35.3	17,453	33.2	16,785	592	486	▲ 2.1	2,282	5.1	13,041	7.5	85.0	▲ 4.2	7,433
38上郡町	24.1	9,953	21.9	9,725	160	78	▲ 3.7	790	▲ 7.0	9,792	3.4	92.9	▲ 5.4	4,967
39佐用町	20.1	15,666	19.7	15,479	155	1,044	▲ 0.6	2,652	1.0	12,854	▲ 1.5	83.5	▲ 0.6	8,394
40香美町	26.9	17,752	26.5	17,231	319	▲ 497	0.3	3,501	▲ 7.8	19,244	0.8	86.2	▲ 0.5	8,507
41新温泉町	19.6	14,058	17.2	13,467	476	257	5.6	2,000	▲ 1.0	15,202	5.1	87.3	2.0	6,238
合計		3,134,391	28.6	3,069,471	29,747	13,664	1.7	150,273	0.2	2,721,634	1.4	95.2	▲ 0.4	1,324,367
市計(神戸市を除く)		2,069,656	31.2	2,026,051	29,447	17,961	3.0	142,019	2.5	1,583,958	0.5	93.2	▲ 0.5	881,224
町計		166,212	26.9	160,208	4,355	1,373	▲ 2.0	25,617	▲ 1.7	145,031	2.6	88.0	▲ 1.3	78,307
県計(神戸市を含む)		3,300,602	28.5	3,229,680	34,102	15,037	1.3	175,890	▲ 0.1	2,866,665	1.4	94.8	▲ 0.4	1,402,673
県計(神戸市を除く)		2,235,868	30.9	2,186,259	33,802	19,334	2.4	167,636	1.9	1,728,989	0.7	92.8	▲ 0.5	959,531

※ 経常収支比率の合計欄は加重平均。

【参考】令和2年度決算主要指標（普通会計） 市町別一覧表

団体名	実質公債費比率		将来負担比率		徴収率						特別徴収実施率		ラスパイレース指数 (R2.4.1)			
	増減		増減		全税目(現繰計)		個人住民税(現繰計)		固定資産税(現繰計)		個人住民税(現年)		増減		増減	
	増	減	増	減	増	減	増	減	増	減	増	減	増	減	増	減
1神戸市	4.3	▲ 0.3	61.6	▲ 4.5	97.6	▲ 0.8	97.6	▲ 0.1	97.3	▲ 1.4	98.9	▲ 0.1	86.5	0.1	100.4	0.1
2姫路市	2.9	▲ 0.3	0.9	5.6	96.6	▲ 0.5	96.7	0.3	96.0	▲ 0.8	98.9	0.0	88.4	0.3	101.3	0.0
3尼崎市	10.9	▲ 1.2	51.4	▲ 16.2	96.7	▲ 0.1	95.0	0.6	97.1	▲ 0.4	98.4	0.1	85.2	0.6	98.2	▲ 0.8
4明石市	3.4	0.4	25.5	0.0	96.1	▲ 0.8	96.6	0.0	95.1	▲ 1.3	99.1	0.0	88.9	0.4	100.3	0.2
5西宮市	4.1	0.8	6.3	0.0	96.9	▲ 0.3	98.6	0.1	96.3	▲ 0.8	99.4	0.1	86.1	0.3	101.4	0.2
6洲本市	14.3	▲ 0.5	62.8	▲ 33.1	96.5	0.0	98.0	0.6	95.5	0.3	99.0	▲ 0.4	87.6	0.4	99.6	0.5
7芦屋市	7.4	▲ 3.6	97.7	12.2	96.2	▲ 0.5	94.8	▲ 0.4	97.7	▲ 0.9	99.3	▲ 0.1	85.0	0.7	101.2	▲ 0.8
8伊丹市	5.1	▲ 0.8	47.2	▲ 8.1	97.9	▲ 0.7	98.0	0.3	97.7	▲ 1.4	99.2	0.2	88.0	0.4	100.1	0.2
9相生市	14.5	0.5	82.4	▲ 9.1	95.8	▲ 1.3	96.0	0.3	95.5	▲ 2.3	99.0	0.3	87.4	0.4	99.3	0.3
10豊岡市	13.8	0.5	69.3	▲ 5.2	94.1	▲ 0.7	96.4	0.8	91.8	▲ 1.4	99.2	0.3	90.1	0.0	95.5	0.2
11加古川市	2.0	▲ 0.4	27.3	▲ 4.5	96.6	▲ 0.1	97.1	0.4	96.1	▲ 0.3	99.3	0.2	87.7	0.1	100.7	0.2
12赤穂市	10.4	0.0	110.9	▲ 18.5	94.9	▲ 0.5	96.0	0.1	93.8	▲ 0.8	99.0	▲ 0.1	91.8	1.2	96.8	▲ 0.5
13西脇市	8.5	▲ 0.4	20.9	24.6	97.1	0.3	96.9	0.5	96.7	0.3	99.3	0.1	86.7	0.5	99.0	0.5
14宝塚市	3.7	0.1	18.9	▲ 3.7	96.7	0.5	97.1	0.6	96.1	0.5	99.3	0.1	85.2	0.8	100.9	▲ 0.2
15三木市	3.5	0.4	39.6	▲ 0.4	95.6	▲ 1.0	96.2	0.0	94.7	▲ 1.7	98.7	▲ 0.1	88.4	0.5	100.0	0.3
16高砂市	4.8	▲ 1.1	70.8	4.4	96.1	▲ 0.2	96.2	0.4	95.8	▲ 0.2	99.2	0.2	88.1	▲ 0.1	99.8	0.2
17川西市	9.3	▲ 0.7	101.4	▲ 6.5	95.9	▲ 0.4	97.5	0.1	94.0	▲ 0.8	99.2	0.1	85.7	0.5	98.5	0.4
18小野市	4.6	0.5	5.7	▲ 6.8	97.4	0.1	97.2	0.7	97.6	▲ 0.1	99.2	0.2	89.6	0.3	100.3	▲ 1.0
19三田市	6.0	▲ 0.4	24.0	▲ 6.4	97.0	▲ 0.3	98.1	0.1	95.9	▲ 0.5	99.5	0.1	87.3	0.6	98.2	2.0
20加西市	8.1	0.5	46.6	▲ 22.8	96.6	0.3	96.6	0.5	96.2	0.5	99.2	0.0	90.3	0.8	99.8	0.6
21丹波篠山市	15.6	▲ 1.6	133.4	▲ 26.7	93.7	▲ 1.5	95.9	▲ 0.8	91.1	▲ 1.5	99.0	▲ 0.1	85.3	0.6	97.9	0.2
22養父市	5.9	0.3	38.1	27.3	93.8	▲ 1.2	97.0	0.4	90.6	▲ 2.3	99.3	▲ 0.1	88.7	▲ 0.9	95.7	▲ 0.6
23丹波市	5.7	0.4	13.6	▲ 12.1	95.8	0.0	97.5	0.2	94.1	▲ 0.0	99.4	0.1	87.1	2.1	97.3	0.2
24南あわじ市	13.6	▲ 0.5	84.4	▲ 20.5	92.5	0.6	93.7	0.4	90.5	0.9	99.1	0.3	81.6	0.1	98.1	0.4
25朝来市	11.3	0.5	19.8	▲ 13.9	93.8	▲ 0.9	94.8	0.3	92.9	▲ 1.6	98.8	0.1	89.9	1.6	97.1	▲ 0.1
26淡路市	14.9	0.4	140.9	▲ 16.6	94.4	0.6	95.0	1.3	93.1	0.4	98.9	0.2	84.1	0.6	98.8	▲ 0.1
27宍粟市	7.9	▲ 1.9	83.7	▲ 32.6	93.6	0.2	95.5	0.4	91.7	0.5	99.0	0.1	88.6	0.7	97.7	▲ 0.1
28加東市	5.1	0.4	92.9	▲ 9.9	95.8	▲ 0.9	95.4	0.0	95.4	▲ 1.6	98.7	▲ 0.2	88.4	1.6	99.2	0.3
29たつの市	10.2	▲ 0.8	11.9	▲ 4.9	94.8	▲ 0.2	97.1	1.0	92.4	▲ 0.7	99.5	0.4	88.8	▲ 0.1	99.5	0.1
30猪名川町	2.9	0.0	69.4	6.3	95.1	0.5	97.7	0.6	91.4	0.7	99.6	0.3	86.3	0.5	99.2	▲ 0.6
31多可町	12.9	▲ 2.6	22.1	▲ 8.4	97.1	0.0	97.8	0.3	96.1	▲ 0.2	99.4	0.0	90.6	0.8	98.7	0.2
32稲美町	5.1	0.5	17.7	11.7	95.8	0.2	94.5	▲ 0.1	95.7	0.8	99.0	0.1	86.5	▲ 0.2	99.3	1.0
33播磨町	▲ 0.1	▲ 0.1	86.8	27.5	97.1	▲ 0.1	96.0	0.3	97.4	▲ 0.3	99.1	0.2	87.7	▲ 0.1	99.4	▲ 0.4
34市川町	8.9	▲ 0.7	93.1	▲ 1.5	90.8	▲ 1.6	94.8	0.0	86.8	▲ 2.9	99.1	4.5	88.4	0.1	97.8	0.1
35福崎町	9.8	▲ 0.5	90.9	▲ 27.0	97.2	▲ 0.1	97.0	0.2	96.9	▲ 0.2	99.1	0.0	87.7	0.1	99.4	▲ 0.1
36神河町	14.4	▲ 1.4	73.5	▲ 2.5	94.9	▲ 0.3	95.4	0.5	95.0	▲ 0.2	99.3	▲ 0.0	89.5	▲ 0.6	97.7	▲ 0.3
37太市町	9.5	▲ 0.4	61.1	1.2	93.5	▲ 2.2	95.3	0.1	91.6	▲ 3.8	98.9	0.2	88.8	0.7	97.2	▲ 0.3
38上郡町	17.1	▲ 1.3	164.8	▲ 14.8	96.3	▲ 0.5	98.0	1.2	95.4	▲ 1.4	99.6	0.6	89.7	0.6	96.2	▲ 0.6
39佐用町	1.7	▲ 1.3	84.5	▲ 9.4	96.8	0.6	98.1	0.6	95.8	0.7	99.5	0.0	93.4	0.6	96.4	▲ 0.5
40香美町	9.6	0.0	59.9	▲ 5.7	93.4	▲ 1.2	97.6	0.3	89.3	▲ 2.5	99.5	0.0	84.8	0.9	94.3	0.2
41新温泉町	10.8	0.2	89.9	5.3	90.6	▲ 1.5	96.3	0.4	84.9	▲ 2.9	99.5	0.2	84.5	▲ 1.3	96.7	0.9
市計(神戸市含)	8.0	▲ 0.4	36.7	▲ 6.9	96.8	▲ 0.5	97.1	0.1	96.2	▲ 0.9	99.0	0.0	87.0	0.4	-	-
市計(神戸市除)	8.2	▲ 0.3	35.8	▲ 7.0	96.4	▲ 0.3	96.8	0.3	95.7	▲ 0.6	99.1	0.1	87.2	0.5	99.5	▲ 0.1
町計	8.6	▲ 0.6	33.1	▲ 1.4	95.4	▲ 0.4	96.4	0.3	94.1	▲ 0.8	99.3	0.4	88.0	0.2	97.4	▲ 0.1
県計(神戸市含)	8.2	▲ 0.4	35.6	▲ 5.3	96.7	▲ 0.5	97.1	0.2	96.1	▲ 0.9	99.0	0.0	87.0	0.3	-	-
県計(神戸市除)	8.3	▲ 0.4	35.0	▲ 5.3	96.3	▲ 0.3	96.8	0.3	95.6	▲ 0.6	99.1	0.1	87.2	0.4	99.3	▲ 0.1

(単位：%)

【別紙1】県内市町の健全化判断比率一覧

(単位:%)

市町名	実質赤字比率		連結実質赤字比率		実質公債費比率			将来負担比率		
	(参考) 早期健全 化基準		(参考) 早期健全 化基準		順位	対前年度 増減率 (▲は改善)	順位	対前年度 増減率 (▲は改善)		
神戸市	—	11.25	—	16.25	4.3	10	▲ 0.3	61.6	25	▲ 4.5
姫路市	—	11.25	—	16.25	2.9	4	▲ 0.3	0.9	12	5.6
尼崎市	—	11.25	—	16.25	10.9	31	▲ 1.2	51.4	22	▲ 16.2
明石市	—	11.25	—	16.25	3.4	6	0.4	25.5	19	0.0
西宮市	—	11.25	—	16.25	4.1	9	0.8	6.3	14	0.0
洲本市	—	12.96	—	17.96	14.3	36	▲ 0.5	62.8	26	▲ 33.1
芦屋市	—	12.15	—	17.15	7.4	19	▲ 3.6	97.7	36	12.2
伊丹市	—	11.39	—	16.39	5.1	13	▲ 0.8	—	1	—
相生市	—	13.67	—	18.67	14.5	38	0.5	82.4	30	▲ 9.1
豊岡市	—	11.92	—	16.92	13.8	35	0.5	69.3	27	▲ 5.2
加古川市	—	11.25	—	16.25	2.0	3	▲ 0.4	—	1	—
赤穂市	—	12.97	—	17.97	10.4	29	0.0	110.9	38	▲ 18.5
西脇市	—	13.07	—	18.07	8.5	22	▲ 0.4	20.9	17	24.6
宝塚市	—	11.34	—	16.34	3.7	8	0.1	18.9	16	▲ 3.7
三木市	—	12.55	—	17.55	3.5	7	0.4	39.6	20	▲ 0.4
高砂市	—	12.38	—	17.38	4.8	12	▲ 1.1	70.8	28	4.4
川西市	—	11.73	—	16.73	9.3	24	▲ 0.7	101.4	37	▲ 6.5
小野市	—	13.11	—	18.11	4.6	11	0.5	5.7	13	▲ 6.8
三田市	—	12.18	—	17.18	6.0	18	▲ 0.4	—	1	—
加西市	—	13.06	—	18.06	8.1	21	0.5	46.6	21	▲ 22.8
丹波篠山市	—	12.86	—	17.86	15.6	40	▲ 1.6	133.4	39	▲ 26.7
養父市	—	13.09	—	18.09	5.9	17	0.3	—	1	—
丹波市	—	12.45	—	17.45	5.7	16	▲ 0.4	—	1	—
南あわじ市	—	12.71	—	17.71	13.6	34	▲ 0.5	84.4	32	▲ 20.5
朝来市	—	12.98	—	17.98	11.3	32	0.5	—	1	—
淡路市	—	12.66	—	17.66	14.9	39	0.4	140.9	40	▲ 16.6
宍粟市	—	12.78	—	17.78	7.9	20	▲ 1.9	83.7	31	▲ 32.6
加東市	—	13.05	—	18.05	5.1	13	0.4	—	1	—
たつの市	—	12.35	—	17.35	10.2	28	▲ 0.8	11.9	15	▲ 4.9
猪名川町	—	14.08	—	19.08	2.9	4	0.0	—	1	—
多可町	—	13.92	—	18.92	12.9	33	▲ 2.6	22.1	18	▲ 8.4
稲美町	—	14.05	—	19.05	5.1	13	0.5	—	1	—
播磨町	—	14.01	—	19.01	▲ 0.1	1	▲ 0.1	—	1	—
市川町	—	15.00	—	20.00	8.9	23	▲ 0.7	93.1	35	▲ 1.5
福崎町	—	14.72	—	19.72	9.8	27	▲ 0.5	90.9	34	▲ 27.0
神河町	—	14.88	—	19.88	14.4	37	▲ 1.4	73.5	29	▲ 2.5
太子町	—	13.91	—	18.91	9.5	25	▲ 0.4	61.1	24	1.2
上郡町	—	15.00	—	20.00	17.1	41	▲ 1.3	164.8	41	▲ 14.8
佐用町	—	13.65	—	18.65	1.7	2	▲ 1.3	—	1	—
香美町	—	13.63	—	18.63	9.6	26	0.0	59.9	23	▲ 5.7
新温泉町	—	14.34	—	19.34	10.8	30	0.2	89.9	33	5.3
市平均	—		—		8.0		▲ 0.4	36.7		▲ 6.9
市平均(神戸市除)	—		—		8.2		▲ 0.3	35.8		▲ 7.0
町平均	—		—		8.6		▲ 0.6	33.1		▲ 1.4
県平均	—		—		8.2		▲ 0.4	35.6		▲ 5.3
県平均(神戸市除)	—		—		8.3		▲ 0.4	35.0		▲ 5.3

24団体が改善、14団体が悪化

28団体が改善、11団体が悪化

- 注1 実質赤字比率、連結実質赤字比率について、赤字が生じない団体は「—」で表示。
 注2 将来負担比率について、公債費充当可能財源等が将来負担額を上回るため比率が算定されない団体は、「—」で表示。
 (下段括弧書きで、公債費充当可能財源等の超過率を参考表示。)
 注3 順位は、比率の低い順。
 注4 平均は、加重平均による。

【別紙2】県内市町の資金不足比率の状況

事業	団体	R2年度		R元年度		備考
		資金不足額 (百万円)	資金不足 比率 (%)	資金不足額 (百万円)	資金不足 比率 (%)	
病院	西宮市	-	-	62	1.3	前年度に比べ入院患者が減少し、医業収益は悪化したが、新型コロナウイルス関連補助金が措置されたことにより資金不足解消。
	宝塚市	905	8.4	1,504	13.5	入院・外来ともに患者数が減少したが新型コロナウイルス関連補助金が措置されたことにより資金不足比率が改善。
	川西市	315	8.9	461	13.9	指定管理者制度の導入に伴い、事業規模は減少したが、人件費等が削減でき赤字が縮小されたことと市からの繰入金で資金不足額も減少し、資金不足比率が改善。
	加西市	-	-	498	10.8	入院・外来の単価が増加し、医業収益が増加したことと新型コロナウイルス関連の補助金により資金不足解消。
	豊岡病院 組合	-	-	246	1.3	入院・外来ともに患者数が減少したが新型コロナウイルス関連補助金が手厚く措置されたことにより資金不足解消。
交通 自動車 運送	神戸市	1,240	15.5	1,718	17.5	新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛の影響による乗車料収入の大幅減少によって、資金不足額は拡大したが、特別減収対策企業債を発行したことにより資金不足額の拡大を防ぐことが出来たもの。

● 経営健全化基準・・・資金不足比率20%以上

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金不足額(流動負債－流動資産－解消可能資金不足額)}}{\text{事業の規模}}$$

【別紙3】県内市町別ふるさと納税受入額と住民税控除額の状況

(単位:千円)

順位	市町名	R2年度 受入額①		R3年度住民税控除額			①-②	①-③
			順位	②	順位	うち交付税措置 なし(25%)③		
1	神戸市	1,073,957	4	5,225,151	1	1,306,288	▲ 4,151,194	▲ 232,331
2	姫路市	71,419	33	1,011,478	3	252,870	▲ 940,059	▲ 181,451
3	尼崎市	45,227	36	851,514	5	212,879	▲ 806,287	▲ 167,652
4	明石市	456,501	12	625,539	7	156,385	▲ 169,038	300,116
5	西宮市	127,216	28	1,959,445	2	489,861	▲ 1,832,229	▲ 362,645
6	洲本市	5,398,232	1	62,959	18	15,740	5,335,273	5,382,492
7	芦屋市	102,768	32	715,678	6	715,678	▲ 612,910	▲ 612,910
8	伊丹市	40,379	37	424,865	9	106,216	▲ 384,486	▲ 65,837
9	相生市	64,762	34	32,413	30	8,103	32,349	56,659
10	豊岡市	864,754	5	64,822	16	16,206	799,932	848,548
11	加古川市	316,798	17	457,232	8	114,308	▲ 140,434	202,490
12	赤穂市	236,604	21	56,555	20	14,139	180,049	222,465
13	西脇市	671,541	8	45,786	26	11,447	625,755	660,094
14	宝塚市	124,099	29	904,896	4	226,224	▲ 780,797	▲ 102,125
15	三木市	496,262	10	106,892	13	26,723	389,370	469,539
16	高砂市	202,879	23	133,322	12	33,331	69,557	169,548
17	川西市	150,528	25	362,136	10	90,534	▲ 211,608	59,994
18	小野市	264,077	18	55,090	21	13,773	208,987	250,304
19	三田市	129,786	27	311,544	11	77,886	▲ 181,758	51,900
20	加西市	5,337,514	2	70,082	15	17,521	5,267,432	5,319,993
21	丹波篠山市	176,904	24	42,201	28	10,550	134,703	166,354
22	養父市	522,962	9	15,028	35	3,757	507,934	519,205
23	丹波市	246,463	20	40,047	29	10,012	206,416	236,451
24	南あわじ市	1,113,395	3	52,308	23	13,077	1,061,087	1,100,318
25	朝来市	463,712	11	21,637	33	5,409	442,075	458,303
26	淡路市	772,434	7	48,398	25	12,100	724,036	760,334
27	宍粟市	250,187	19	24,983	31	6,246	225,204	243,941
28	加東市	802,964	6	48,622	24	12,156	754,342	790,808
29	たつの市	208,399	22	57,769	19	14,442	150,630	193,957
30	猪名川町	30,764	38	63,043	17	15,761	▲ 32,279	15,003
31	多可町	106,778	31	17,036	34	4,259	89,742	102,519
32	稲美町	113,519	30	93,115	14	23,279	20,404	90,240
33	播磨町	260	41	53,138	22	13,285	▲ 52,878	▲ 13,025
34	市川町	357,597	15	5,819	41	1,455	351,778	356,142
35	福崎町	53,216	35	22,157	32	5,539	31,059	47,677
36	神河町	20,074	40	6,713	40	1,678	13,361	18,396
37	太子町	370,820	14	42,274	27	10,569	328,546	360,251
38	上郡町	137,939	26	9,813	36	2,453	128,126	135,486
39	佐用町	25,917	39	7,091	39	1,773	18,826	24,144
40	香美町	438,795	13	9,456	37	2,364	429,339	436,431
41	新温泉町	318,808	16	8,270	38	2,068	310,538	316,740
	全市町計	22,707,210		14,166,317		4,078,344	8,540,893	18,628,866

※芦屋市は不交付団体であるため、③は×25%せずに算定

(再計)

区分	受入額①	控除額②	控除額③	①-②	①-③
県内市町	22,707,210	14,166,317	4,078,344	8,540,893	18,628,866
兵庫県	91,580	7,266,928	1,816,732	▲ 7,175,348	▲ 1,725,152
計	22,798,790	21,433,245	5,895,076	1,365,545	16,903,714

【別紙4】県内市町立病院の決算状況(指定管理の市立川西病院除く)

(単位:百万円)

圏域		経常損益			うち 入院収益			うち 外来収益			純損益		
		R2	R1	増減 R2-R1	R2	R1	増減 R2-R1	R2	R1	増減 R2-R1	R2	R1	増減 R2-R1
阪神南	西宮市立中央病院	▲ 345	▲ 1,281	937	2,301	2,440	▲ 139	1,388	1,527	▲ 138	▲ 359	▲ 1,296	938
	市立芦屋病院	329	▲ 43	372	2,785	3,141	▲ 355	1,070	1,102	▲ 32	312	▲ 61	374
阪神北	市立伊丹病院	966	114	852	7,304	7,594	▲ 290	3,509	3,380	129	966	147	819
	宝塚市立病院	▲ 400	▲ 446	46	6,434	6,720	▲ 285	3,653	3,789	▲ 136	160	▲ 51	211
	三田市民病院	1,238	▲ 62	1,300	5,119	5,255	▲ 135	1,851	1,930	▲ 79	1,259	26	1,233
東播磨	明石市立市民病院	747	145	602	4,828	5,183	▲ 355	1,953	2,270	▲ 317	743	132	611
	加古川市立市民病院	1,756	1,828	▲ 72	15,517	15,762	▲ 245	6,955	7,020	▲ 65	1,747	1,800	▲ 53
	高砂市立市民病院	▲ 38	▲ 479	441	1,963	2,318	▲ 355	1,367	1,432	▲ 65	▲ 29	1	▲ 30
北播磨	市立西脇病院	13	9	4	5,363	5,352	12	1,609	1,640	▲ 31	6	2	4
	市立加西病院	233	▲ 415	648	3,122	2,941	181	1,124	1,192	▲ 68	220	▲ 417	637
	加東市民病院	▲ 189	▲ 94	▲ 95	1,165	1,338	▲ 173	368	374	▲ 6	▲ 105	▲ 64	▲ 41
	北播磨総合医療センター	▲ 467	▲ 143	▲ 325	10,065	10,390	▲ 325	4,264	4,091	173		▲ 157	157
中播磨	神崎総合病院	▲ 50	▲ 37	▲ 14	1,418	1,430	▲ 13	836	854	▲ 17	▲ 53	▲ 294	241
西播磨	相生市民病院	25	▲ 11	35	338	282	56	240	256	▲ 16	24	▲ 11	36
	赤穂市民病院	▲ 1,032	▲ 809	▲ 223	4,941	4,964	▲ 23	2,198	2,316	▲ 117	▲ 1,035	▲ 812	▲ 223
	宍粟総合病院	492	38	453	2,150	2,196	▲ 46	1,172	1,218	▲ 46	493	38	455
	たつの市民病院	215	64	151	1,344	1,193	151	382	340	42	215	302	▲ 87
但馬	公立香住病院	▲ 76	31	▲ 107	292	280	12	358	376	▲ 18	▲ 93	29	▲ 122
	公立浜坂病院	▲ 242	▲ 182	▲ 60	295	345	▲ 51	130	161	▲ 31	30	▲ 5	35
	公立豊岡病院組合	847	▲ 630	1,477	11,237	11,457	▲ 220	5,710	5,825	▲ 115	▲ 1,508	▲ 630	▲ 877
	公立八鹿病院組合	▲ 324	▲ 431	107	4,402	4,424	▲ 22	1,568	1,711	▲ 144	▲ 325	▲ 432	107
計		3,694	▲ 2,836	6,530	92,383	95,004	▲ 2,621	41,704	42,801	▲ 1,098	2,670	▲ 1,756	4,425

◇財政・健全化判断比率用語集

1 財政関係

形式収支	歳入決算総額から歳出決算総額を単純に差し引いた額
実質収支	形式収支から、翌年度へ繰り越した事業の財源として収入済みの歳入額を控除した、実質的な決算。地方公共団体の黒字（赤字）は、これにより判断される。
単年度収支	当該年度の実質収支から前年度の実質収支（前年度までの決算剰余金）を差し引いた、当該年度だけの収支額
実質単年度収支	単年度収支に含まれる実質的な黒字要素である財政基金積立金や赤字要素である財政基金取崩額を控除した額
標準財政規模	地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税を加算した額
経常収支比率	<p>県税、普通交付税などの経常的な一般財源収入のうち、人件費や施設維持費などの経常的経費に充当された一般財源の割合。数値が低いほど財政の弾力性が高いことを示す。</p> <p>○経常経費充当一般財源／経常一般財源総額</p>
普通会計	一般会計と特別会計のうち公営事業会計以外の会計を1つの会計としてまとめたもの
公営事業会計	公営企業（水道、病院、交通など）、国民健康保険事業、介護保険事業、老人保健医療事業、収益事業（競馬、競艇、宝くじなど）、農業共済事業など独立採算を原則とする事業の会計
一般会計	地方公共団体の行政運営の基本的な経費を網羅して計上した会計で、地方公共団体の会計の中心をなすもの
特別会計	一般会計に対し、特定の歳入歳出を一般の歳入歳出と区別して別個に処置するための会計
臨時財政対策債	地方一般財源の不足を補填するために、本来地方交付税として交付されるべき額の一部を振り替えて発行される特例地方債（地方公共団体が借入れ、後年度の償還費について全額地方交付税に算入される。）

2 健全化判断比率関係

<p>実質赤字比率</p>	<p>一般会計等における実質赤字の標準財政規模に対する割合を示す指標であり、早期健全化基準は標準財政規模に応じて11.25%～15.0%、財政再生基準は20%である。</p> <p>○ 一般会計等の実質赤字額 / 標準財政規模</p>
<p>連結実質赤字比率</p>	<p>全会計における実質赤字（又は資金不足額）の標準財政規模に対する割合を示す指標であり、早期健全化基準は標準財政規模に応じて16.25%～20.0%、財政再生基準は30%である。</p> <p>○ $\{(A+B)-(C+D)\} / \text{標準財政規模}$ A＝一般会計等のうち、実質赤字を生じた会計の実質赤字の合計額 B＝公営企業会計のうち、資金の不足額を生じた会計の資金不足額の合計額 C＝一般会計等のうち、実質黒字を生じた会計の実質黒字の合計額 D＝公営企業会計のうち、資金の剰余額を生じた会計の資金剰余額の合計額</p>
<p>実質公債費比率</p>	<p>公債費による財政負担の度合いを判断する指標として、起債に協議を要する団体と、許可を要する団体の判定に用いられるもの。18%以上となる団体については、起債に当たり許可が必要となる。また、早期健全化基準は25%、財政再生基準は35%である。</p> <p>○ $\{(A+B+C)-(D+E)\} / (F-E)$ の3か年平均 A＝当該年度の元利償還額（繰上償還分は除く） B＝準元利償還金（公営企業への繰入金、債務負担行為のうち公債費に準ずるもの等） C＝減債基金積立不足に対する加算（※） D＝元利償還金又は準元利償還金に充てられた特定財源 E＝ ” ” に対する基準財政需要額算入分 F＝標準財政規模（含む、臨時財政対策債発行可能額） （※）減債基金積立不足に対する加算 $a \times (1 - b / c)$ a＝満期到来時における実質償還額（満期一括償還地方債） b＝前年度末減債基金残高 c＝前年度末あるべき減債基金残高</p>
<p>将来負担比率</p>	<p>一般会計等が将来負担することが見込まれる実質的な負債の標準財政規模に対する割合を示す指標であり、早期健全化基準は350%である。</p> <p>○ $\{(A)-(B)\} / \text{標準財政規模}$ A（将来負担額）の内容 ① 一般会計等の地方債現在高 ② 債務負担行為に基づく支出予定額（公債費に準ずるもののみ） ③ 一般会計等以外の会計における地方債の元金償還に充てるための繰出見込額 ④ 加入する組合等における地方債の元金償還に必要な負担見込額 ⑤ 一般会計等が負担する退職手当支給予定額 ⑥ 設立した法人の負債の額等、その者のために債務を負担している場合の負担見込額（公社、第3セクター等の損失補償額等及び制度融資等の損失補償額） ⑦ 連結実質赤字額 ⑧ 組合等の連結実質赤字額のうち、一般会計等の負担見込額</p>
<p>資金不足比率</p>	<p>公営企業ごとの資金不足額の事業規模に対する比率資金不足額</p> <p>○ $(A) / \text{事業の規模}$ ※A 資金不足額の内容 ① 法適用企業 （流動負債＋資金手当債等残高－流動資産）－解消可能資金不足額（※※） ② 法非適用企業 実質赤字額＋資金手当債等残高－解消可能資金不足額（※※） ※※ 解消可能資金不足額 事業の性質上、一定の期間、構造的に資金不足が発生する場合に、資金不足額から控除する一定の額</p>

「令和2年度 兵庫県内の市町財政の状況」



(1) 経常収支比率の状況

【資料1】 令和2年度兵庫県内各市町の経常収支比率（単年度）の状況<地図>

【資料2】 経常収支比率（単年度）の対前年度比較

(2) 実質公債費比率の状況

【資料3】 令和2年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況<地図>

【資料4】 実質公債費比率の対前年度比較

(3) 将来負担比率の状況

【資料5】 令和2年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況<地図>

【資料6】 将来負担比率の対前年度比較

(4) 税徴収率の状況

【資料7】 令和2年度兵庫県内各市町の徴収率（個人市町村民税）の状況<地図>

【資料8】 徴収率（個人市町村民税）の対前年度比較

【資料9】 令和2年度兵庫県内各市町の徴収率（固定資産税）の状況<地図>

【資料10】 徴収率（固定資産税）の対前年度比較

【資料11】 令和2年度兵庫県内各市町の特別徴収実施率の状況<地図>

【資料12】 特別徴収実施率の対前年度比較

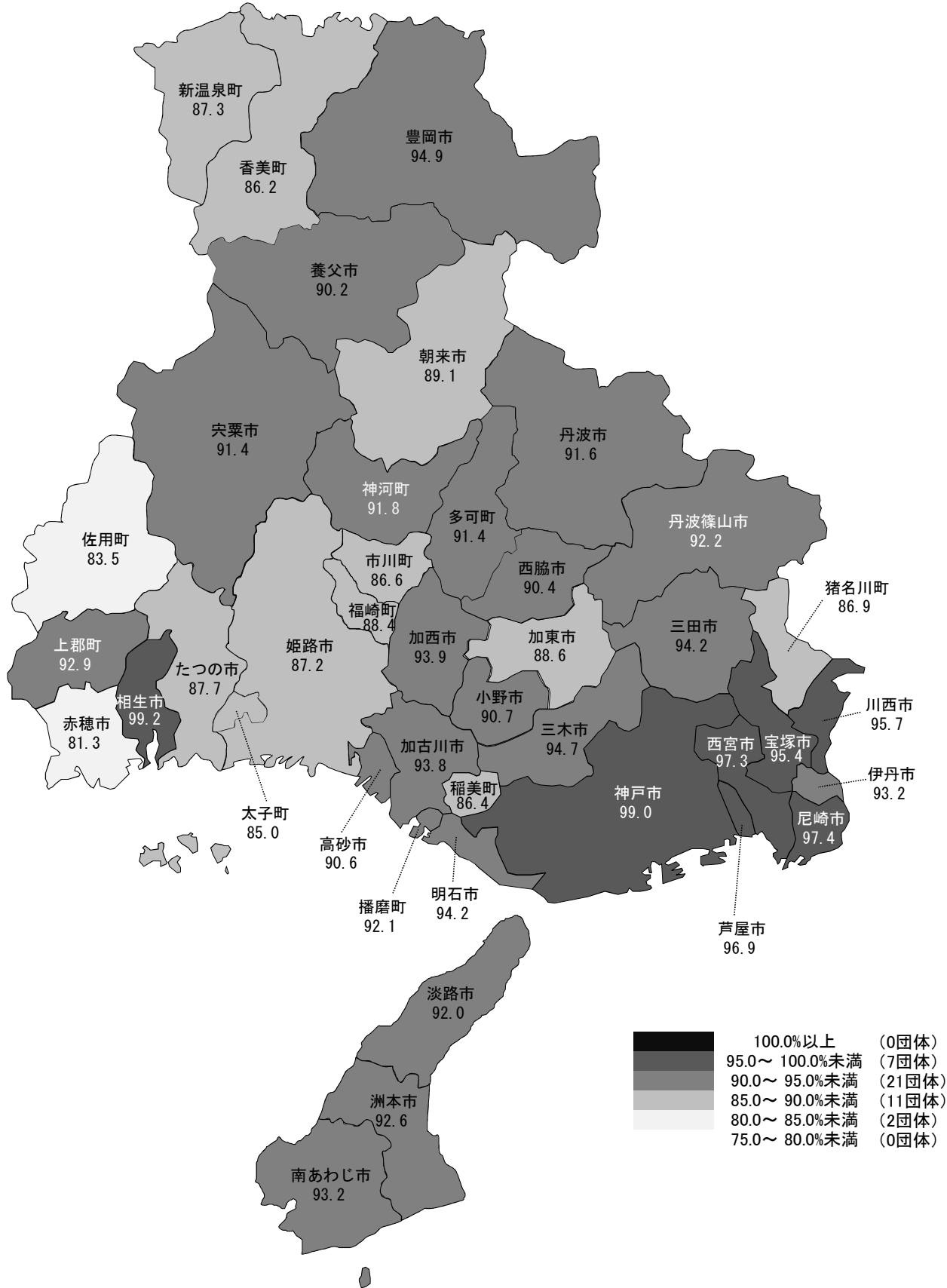
※ 参考

【参考資料①】 令和3年兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況<地図>

【参考資料②】 ラスパイレス指数の対前年度比較

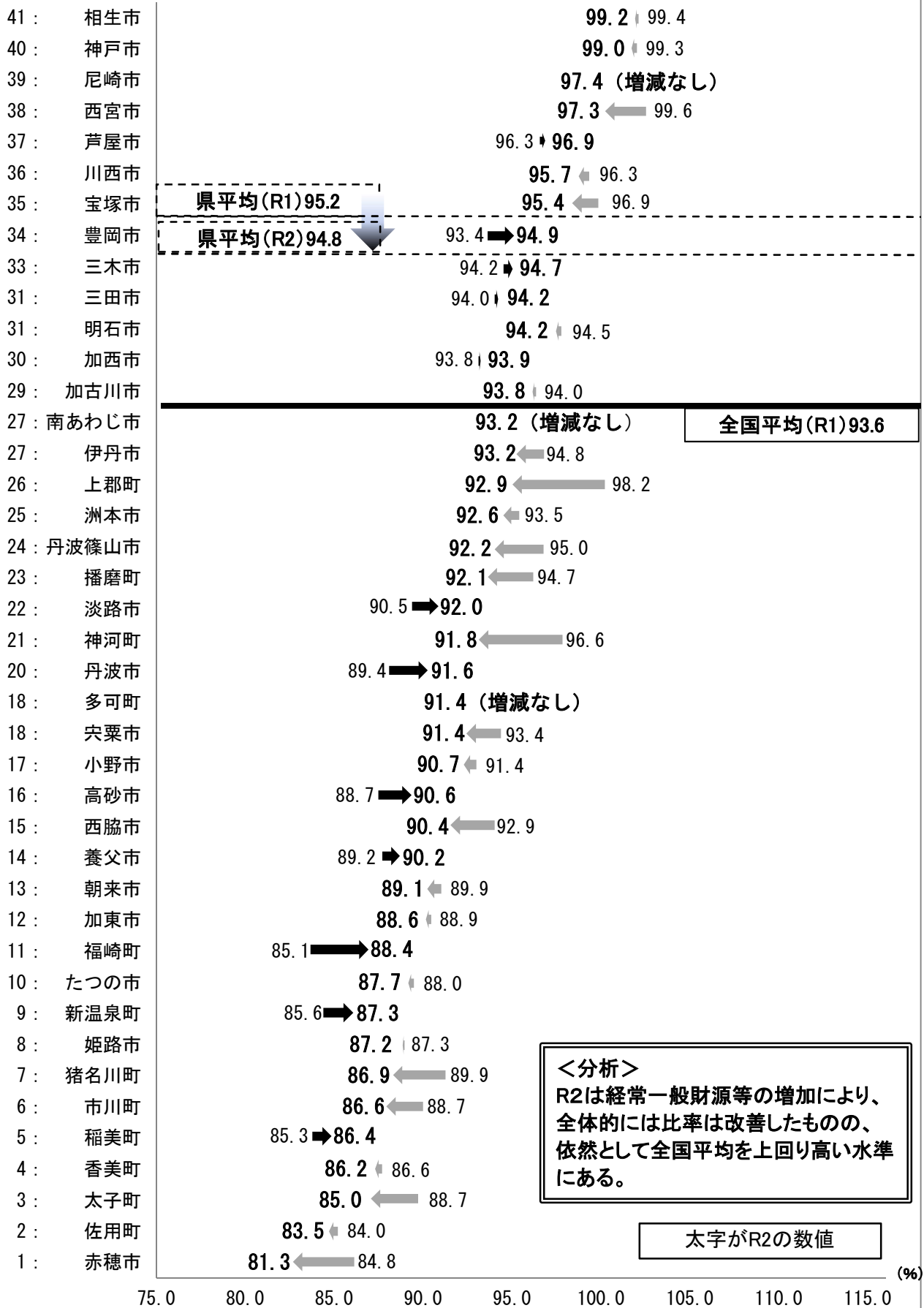
令和2年度兵庫県内各市町の経常収支比率(単年度)の状況

○令和2年度の経常収支比率の県内市町平均は94.8%(R1全国平均は93.6%)
 ○経常収支比率が最も高い団体は、市では相生市(99.2%)、町では上郡町(92.9%)
 ○経常収支比率が最も低い団体は、市では赤穂市(81.3%)、町では佐用町(83.5%)



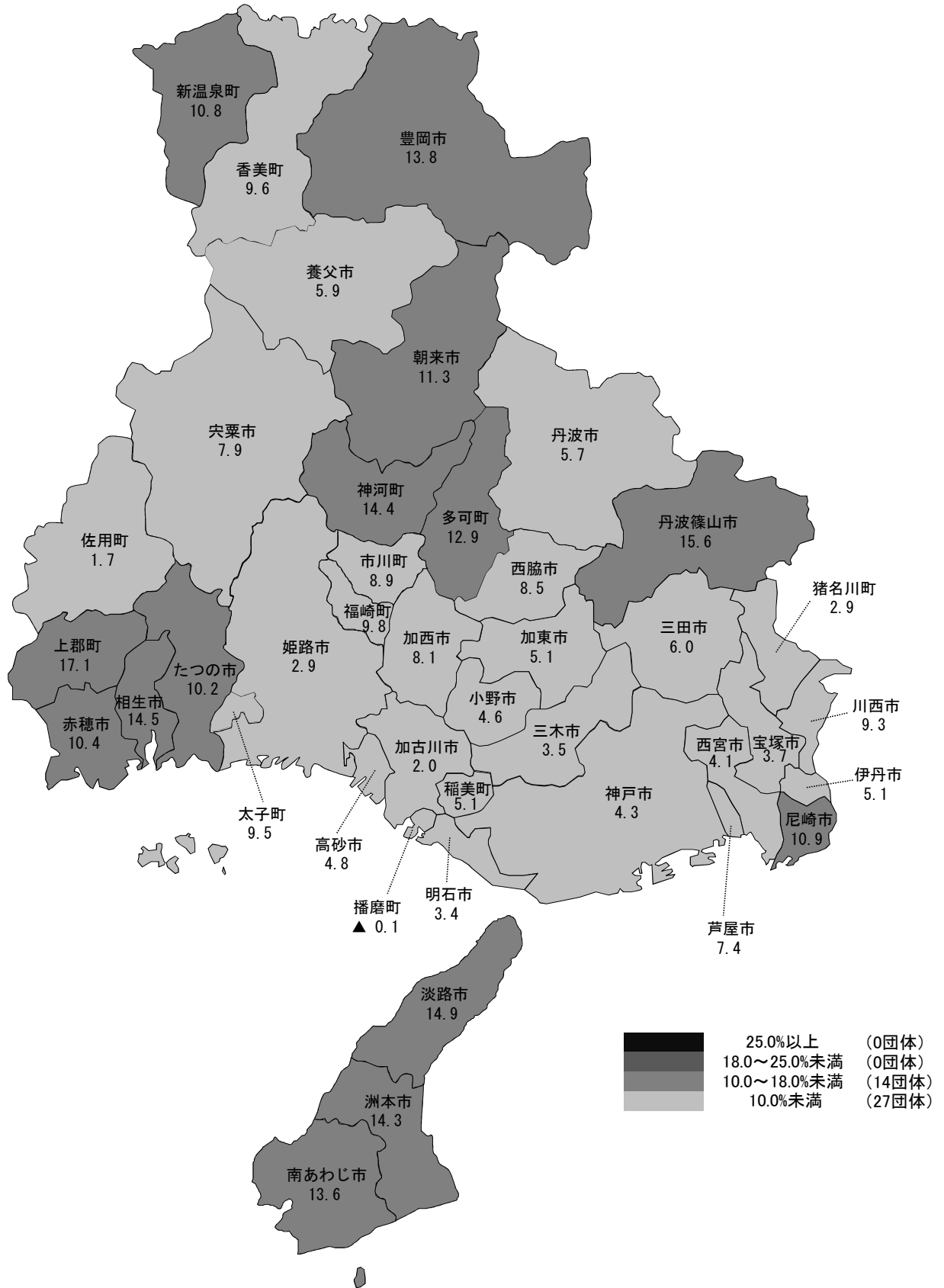
経常収支比率の対前年度比較

■前年度から比率が増加したのは12団体、比率が減少したのは26団体、3団体が増減なし。
 ■最も減少したのは、市では赤穂市(▲3.5)、町では上郡町(▲5.3)。
 ■最も増加したのは、市では丹波市(+2.2)、町では福崎町(+3.3)。



令和2年度兵庫県内市町の実質公債費比率の状況

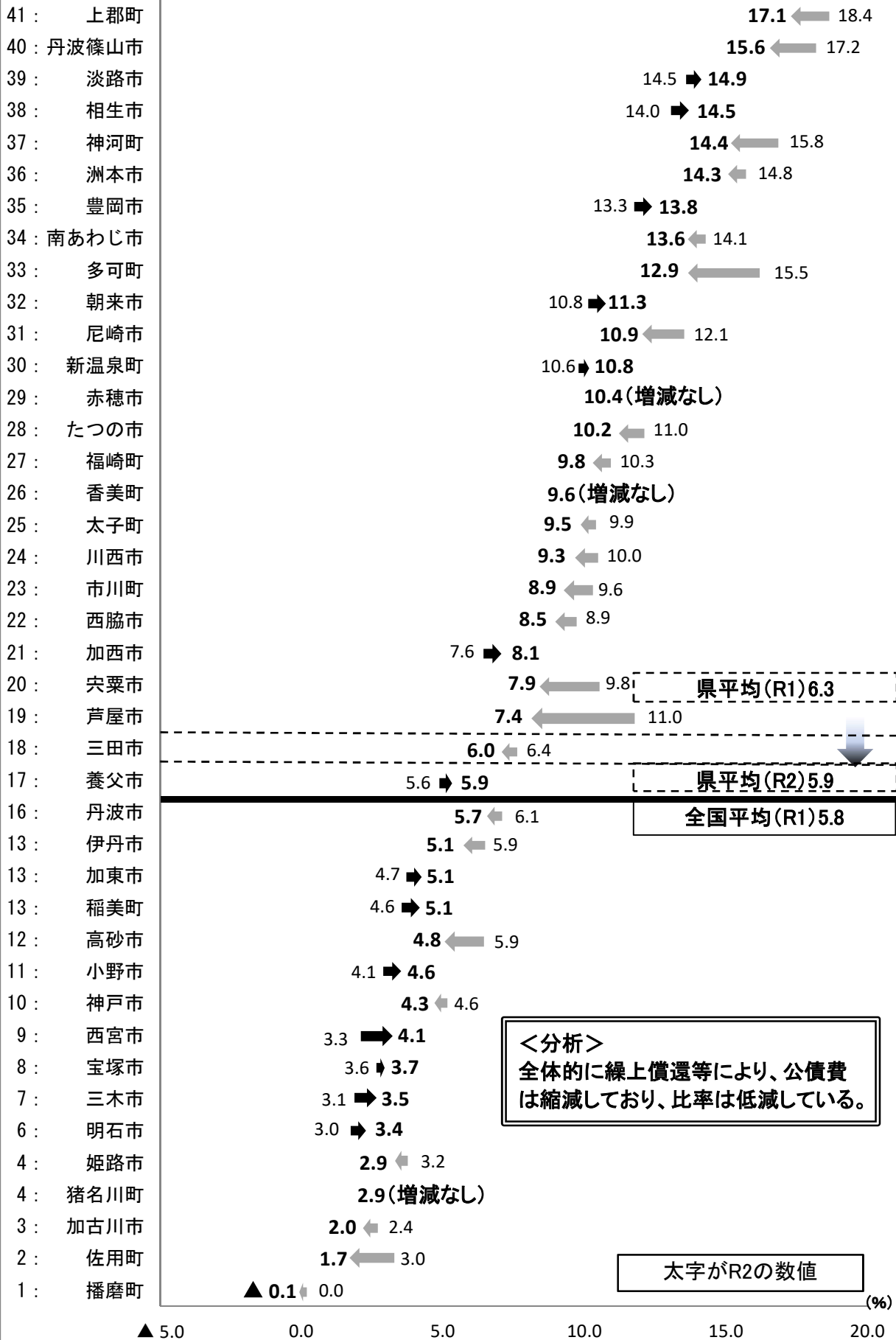
○令和2年度の実質公債費比率の県内市町平均は5.9%(R1全国平均は5.8%)
 ○実質公債費比率が25%以上※1の団体、18%以上※2の団体はない。
 ○実質公債費比率が18%未満※3の団体は、41市町となった。(上郡町がR1:18.4%であった。)



※1 実質公債費比率が25%以上35%未満の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を策定し、その内容及び実施状況に応じて起債が許可される。
 ※2 実質公債費比率が18%以上25%未満の地方公共団体は、公債費負担適正化計画の内容および実施状況に応じ、起債が許可される。
 ※3 実質公債費比率が18%未満(実質赤字額・連結実質赤字比率が0、将来負担比率350%以下等)の地方公共団体は、民間等資金の起債にあたり、原則として協議が不要となり、事前届出となる。

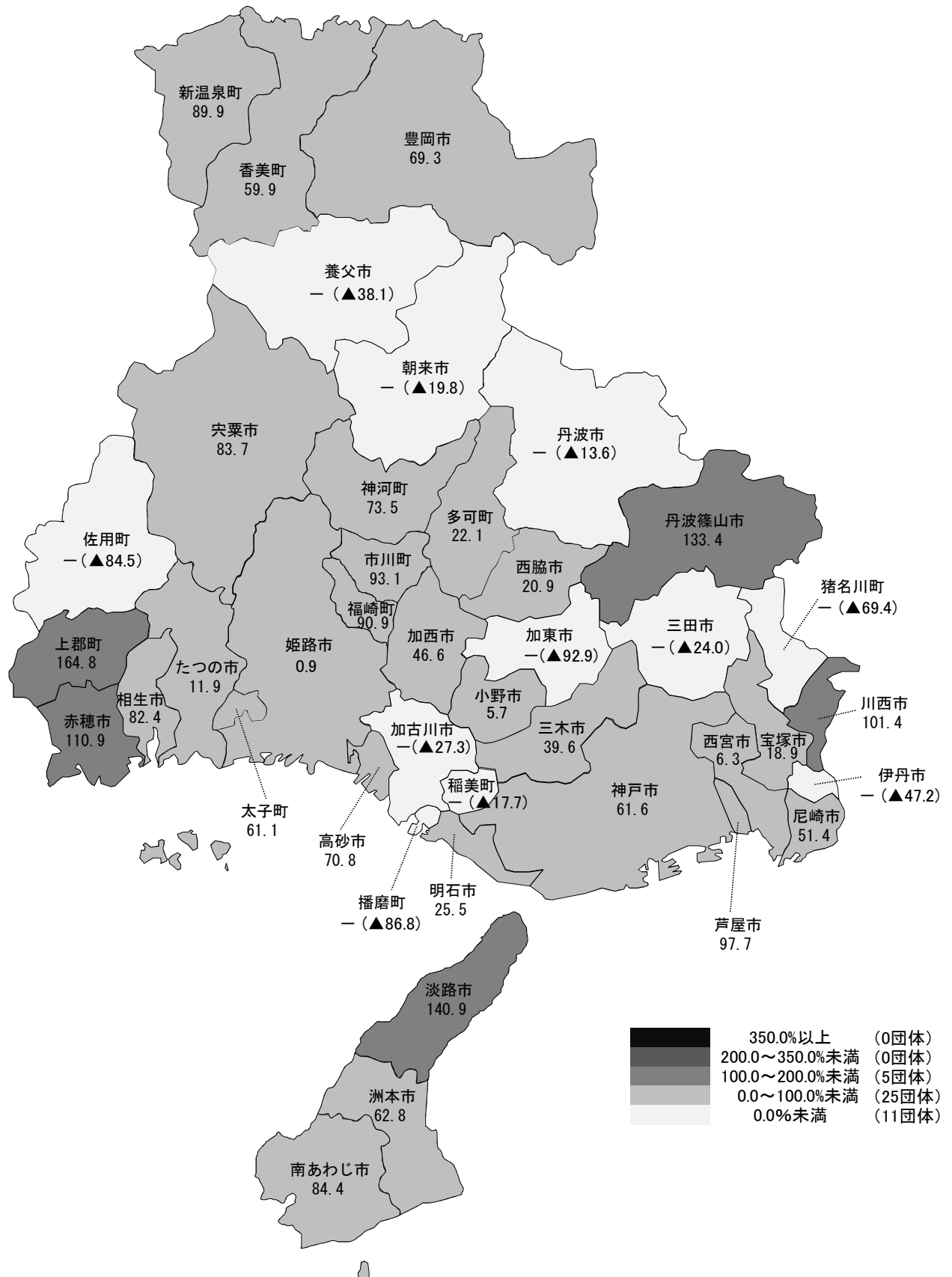
実質公債費比率の対前年度比較

- 前年度から比率が増加したのは14団体、比率が減少したのは24団体、3団体が増減なし。
- 最も減少したのは、市では芦屋市(▲3.6)、町では多可町(▲2.6)。
- 最も増加したのは、市では西宮市(+0.8)、町では稲美町(+0.5)。



令和2年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況

- 令和2年度の実質公債費比率の県内市町平均は37.1% (R1全国平均は27.4%)
 ○将来負担比率が350%以上(早期健全化団体)※1の団体はない。0.0%未満の団体は加東市、播磨町など11市町。



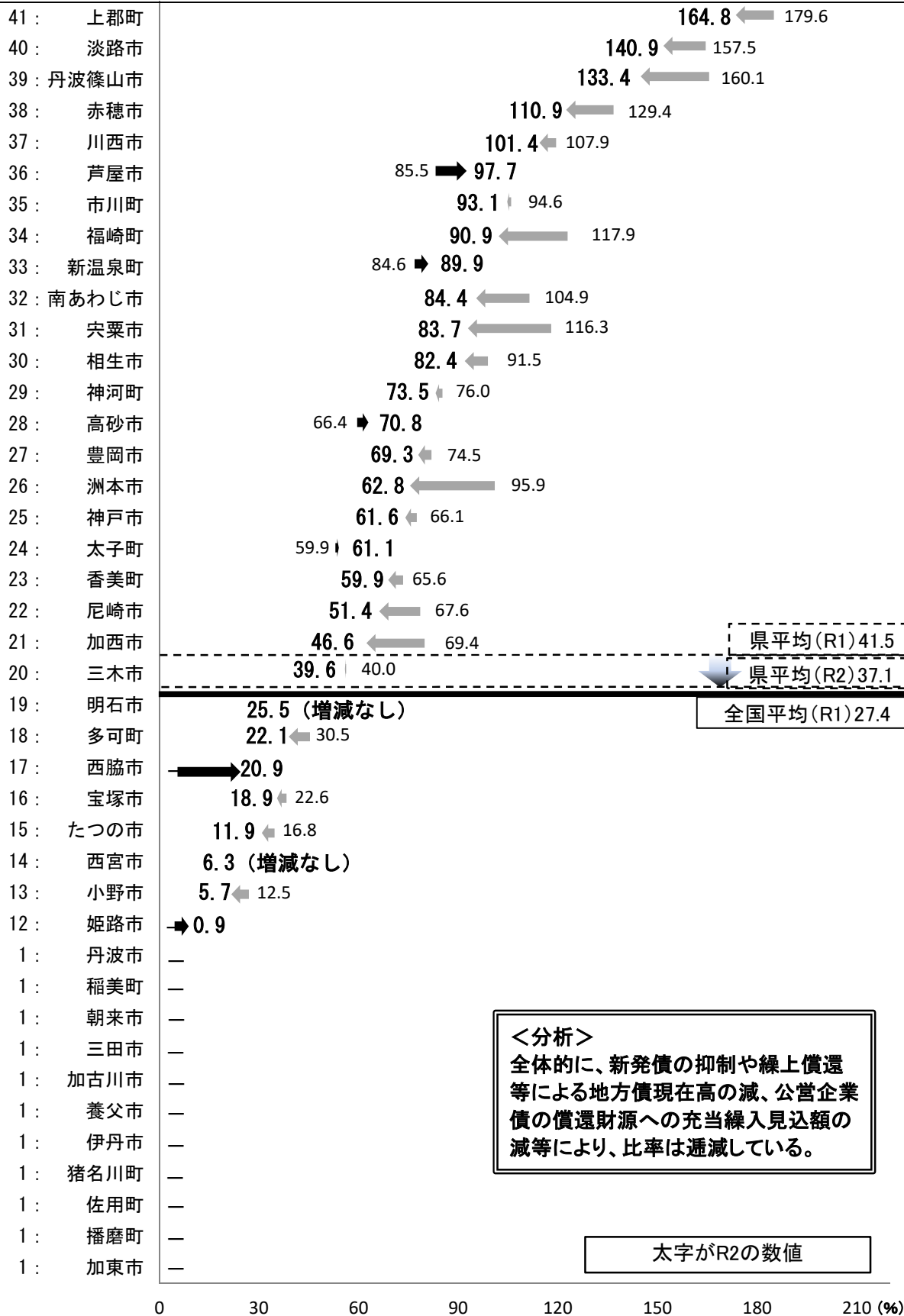
※1 将来負担比率が350%以上(政令市においては400%以上)の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を定めなければならない。

※2 将来負担比率について、公債費充当可能財源等が将来負担額を上回るため比率が算定されない団体は、「-」で表示。(括弧書きで、公債費充当可能財源等の超過率を参考表示。)

将来負担比率の対前年度比較

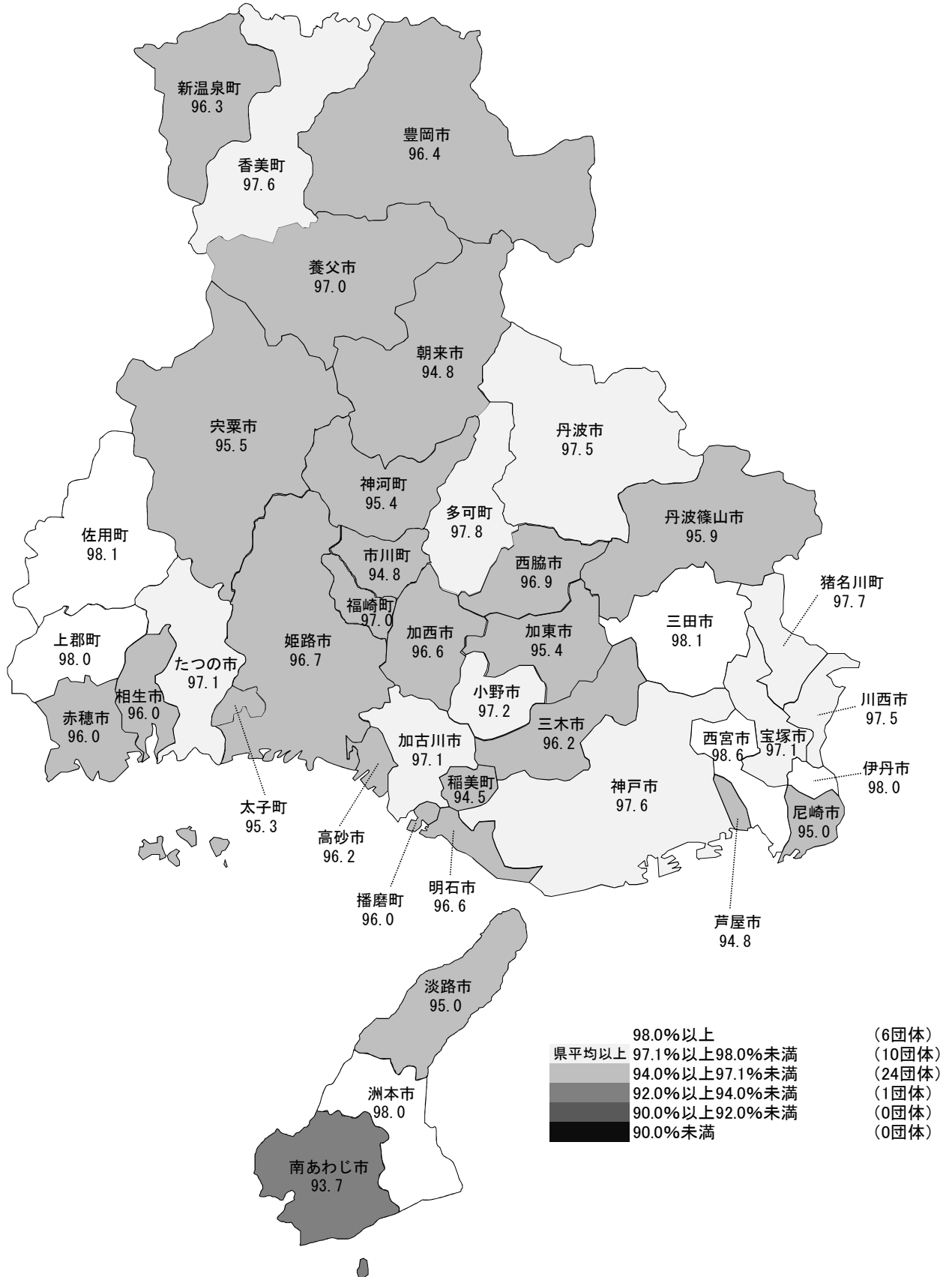
【資料6】

- 前年度から比率が減少したのは28団体、比率が増加したのは11団体、2団体が増減なし。
- 最も減少したのは、市では洲本市(▲33.1)、町では福崎町(▲27.0)。
- 最も増加したのは、市では西脇市(+24.6)、町では新温泉町(+5.3)。



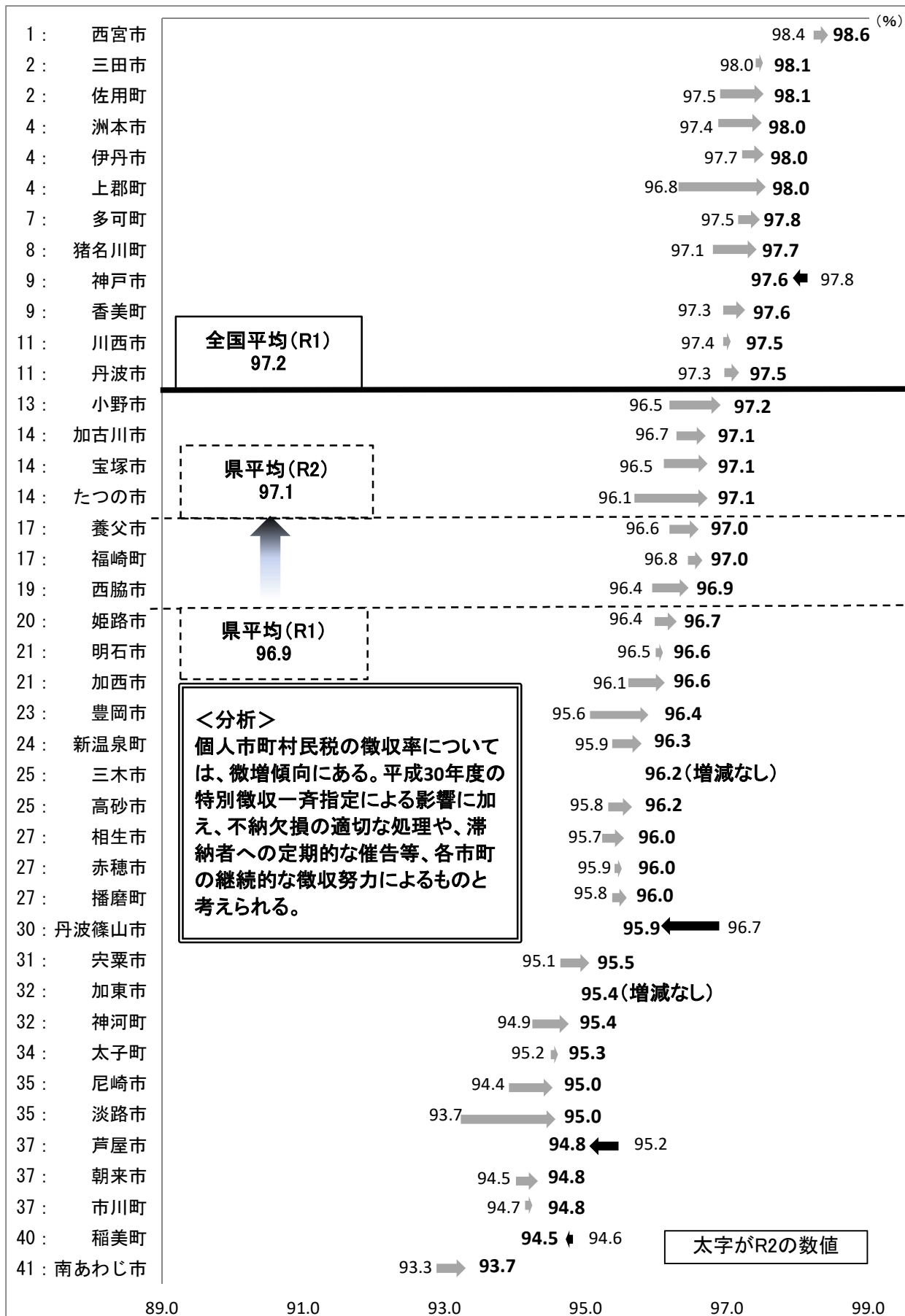
令和2年度兵庫県内各市町の徴収率(個人市町村民税)の状況

- 徴収率の県平均は97.1%(R1県平均96.9%)
- 徴収率が最も高い団体は、市では西宮市(98.6%)、町では佐用町(98.1%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では南あわじ市(93.7%)、町では稲美町(94.5%)



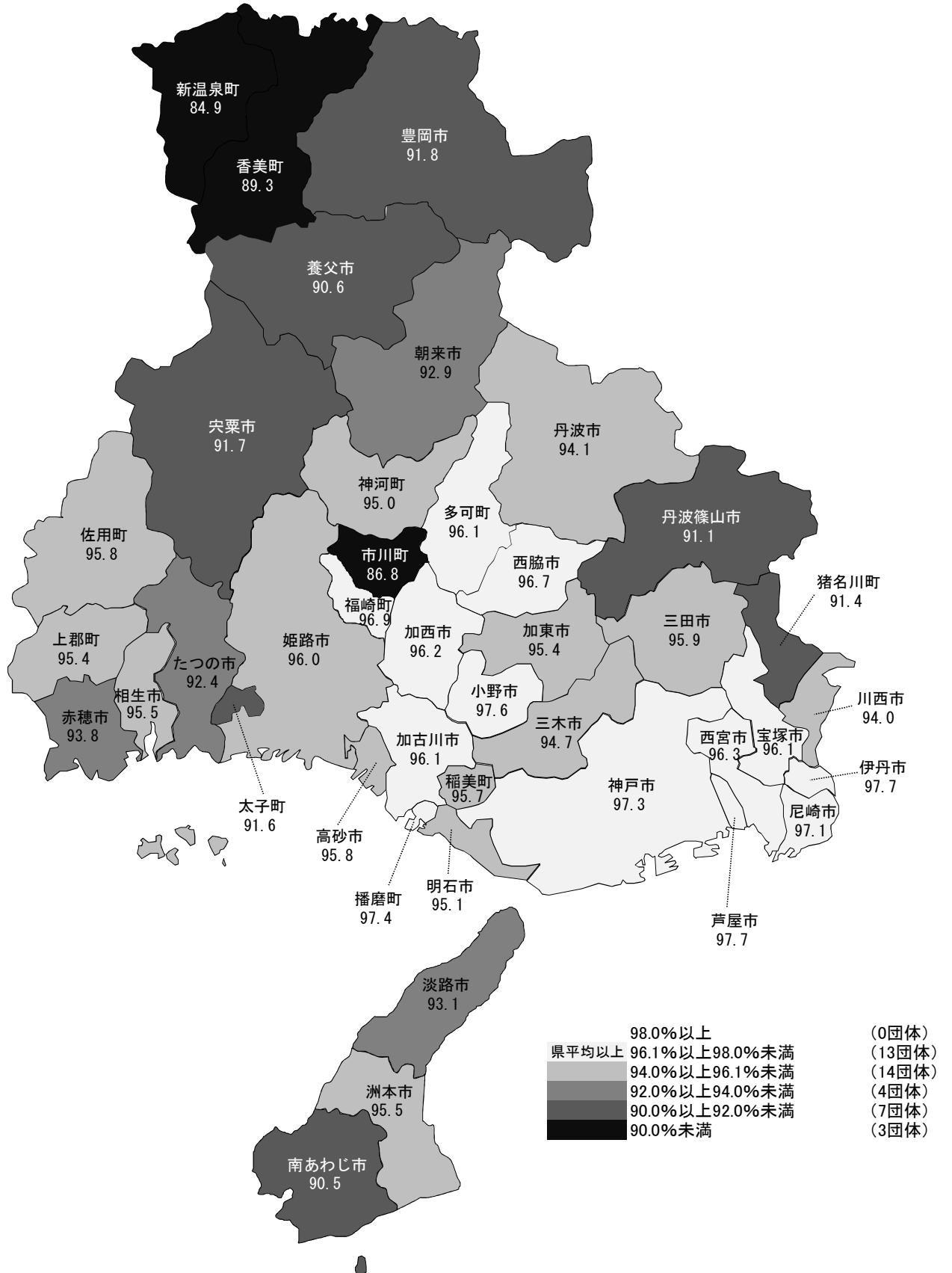
徴収率(個人市町村民税)の対前年度比較

■前年度から徴収率が減少したのは4団体、増加したのは35団体。
 ■最も増加したのは淡路市(1.3%)、最も減少したのは丹波篠山市(▲0.8%)



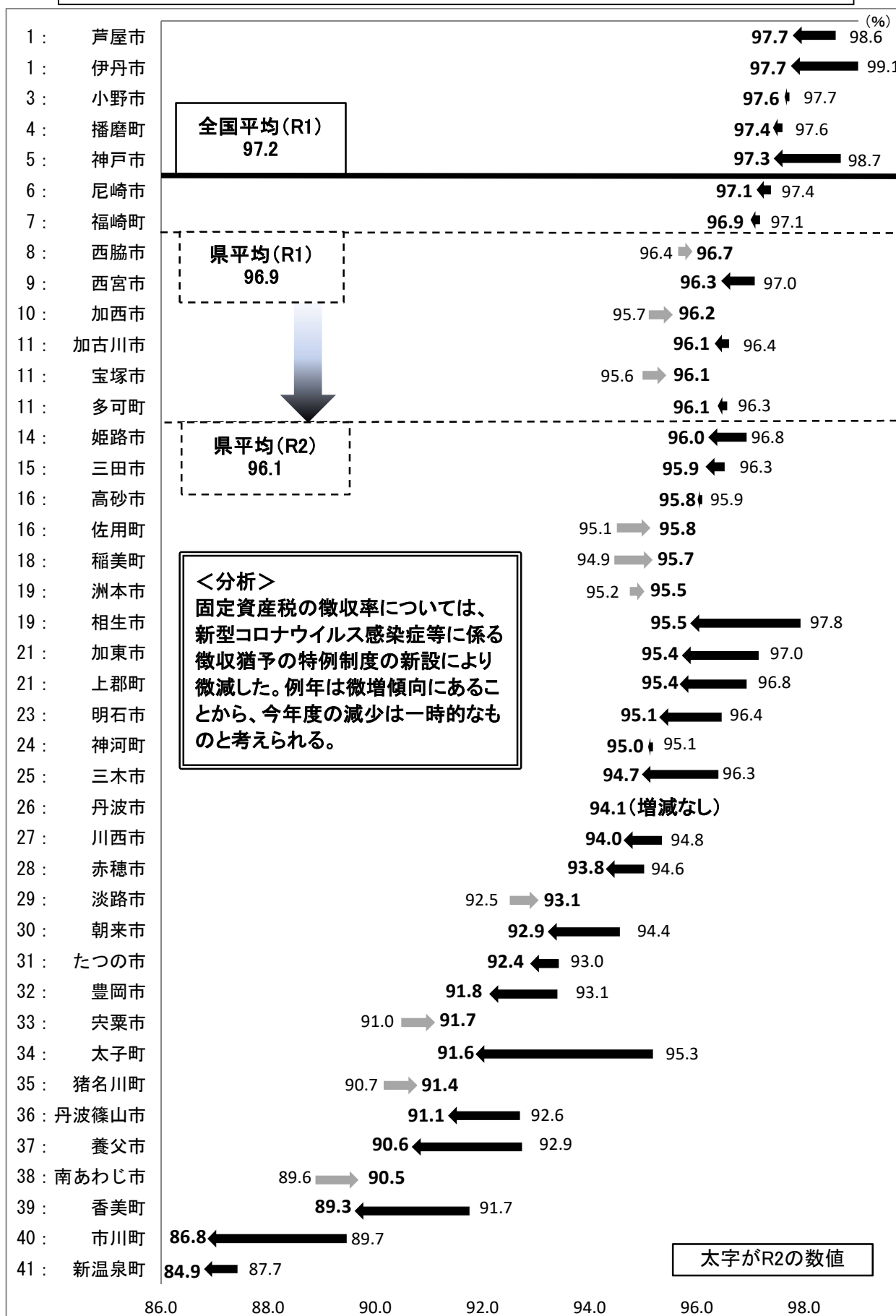
令和2年度兵庫県内各市町の徴収率(固定資産税)の状況

- 徴収率の県平均は96.1%(R1県平均96.9%)
- 徴収率が最も高い団体は、市では芦屋市、伊丹市(97.7%)、町では播磨町(97.4%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では南あわじ市(90.5%)、町では新温泉町(84.9%)



徴収率(固定資産税)の対前年度比較

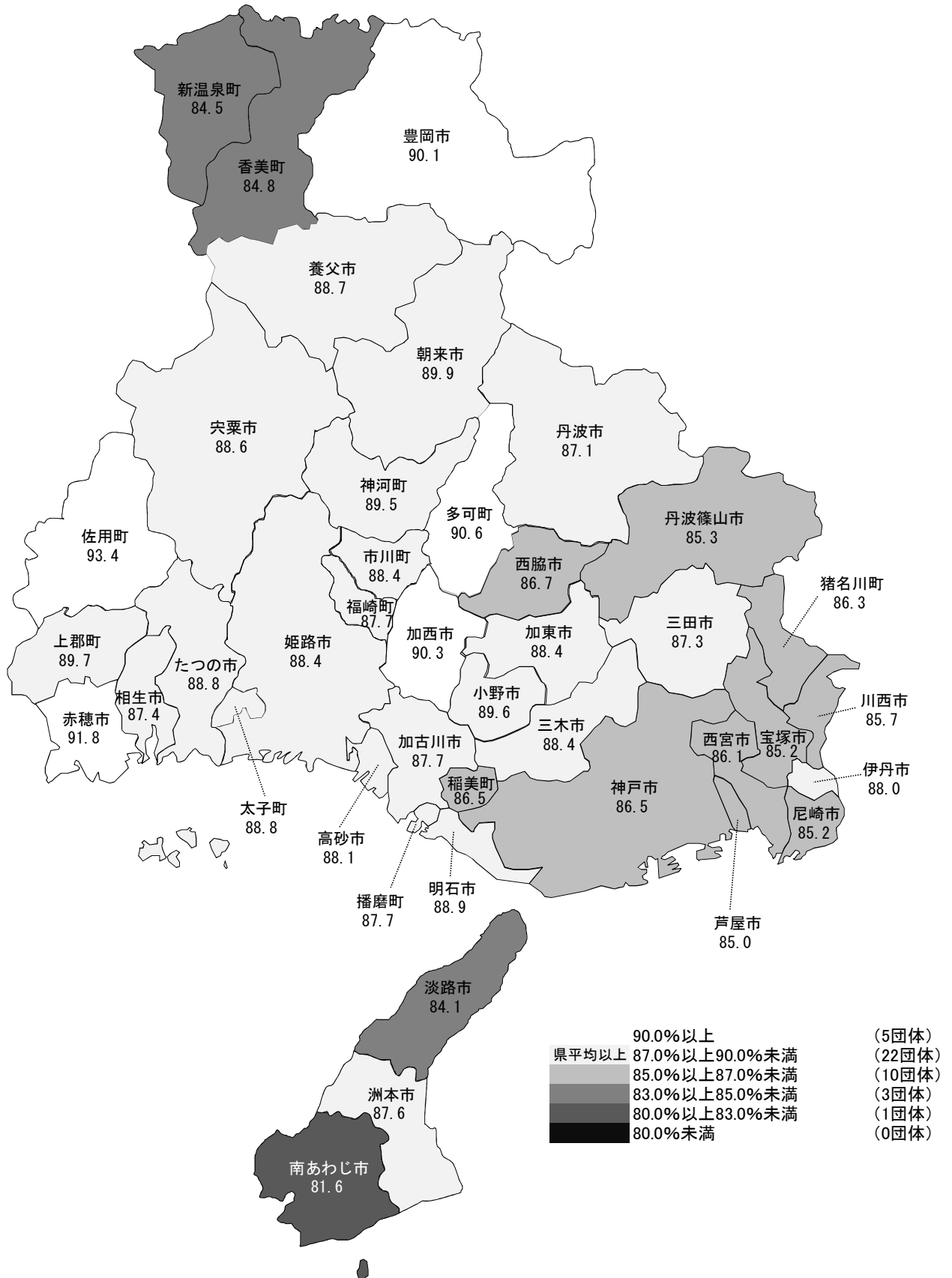
■前年度から徴収率が減少したのは30団体、増加したのは10団体。
 ■最も増加したのは南あわじ市(0.9%)、最も減少したのは太子町(▲3.7%)



＜分析＞
 固定資産税の徴収率については、
 新型コロナウイルス感染症等に係る
 徴収猶予の特例制度の新設により
 微減した。例年は微増傾向にあるこ
 とから、今年度の減少は一時的なも
 のと考えられる。

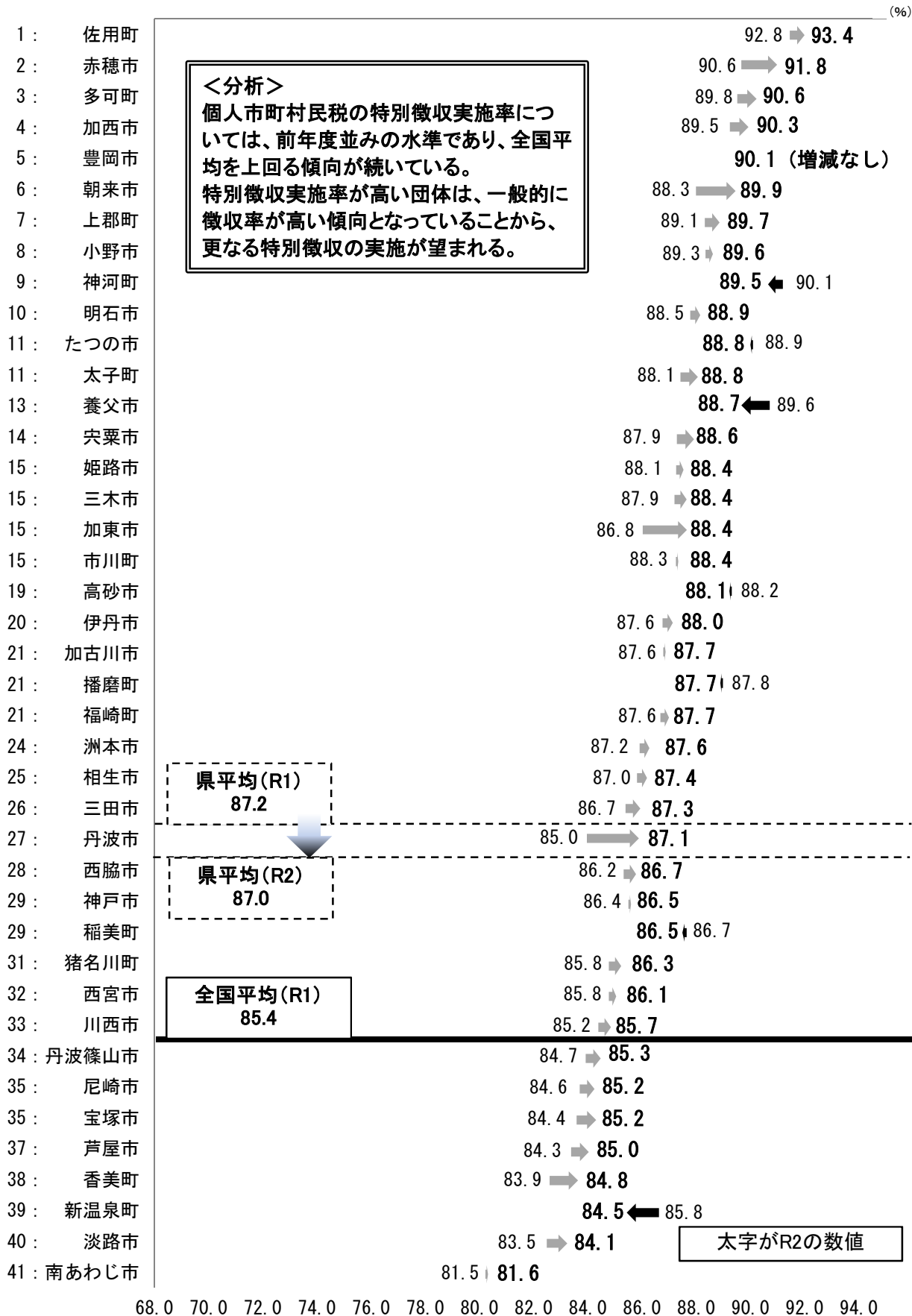
令和2年度兵庫県内各市町の特別徴収実施率の状況

- 特別徴収実施率の県平均は87.0%(R1県平均87.2%)
- 特別徴収実施率が最も高い団体は、市では赤穂市(91.8%)、町では佐用町(93.4%)
- 特別徴収実施率が最も低い団体は、市では南あわじ市(81.6%)、町では新温泉町(84.5%)



特別徴収実施率の対前年度比較

■前年度からの比率は33団体で増加した。
 ■最も増加したのは丹波市(2.1%)。

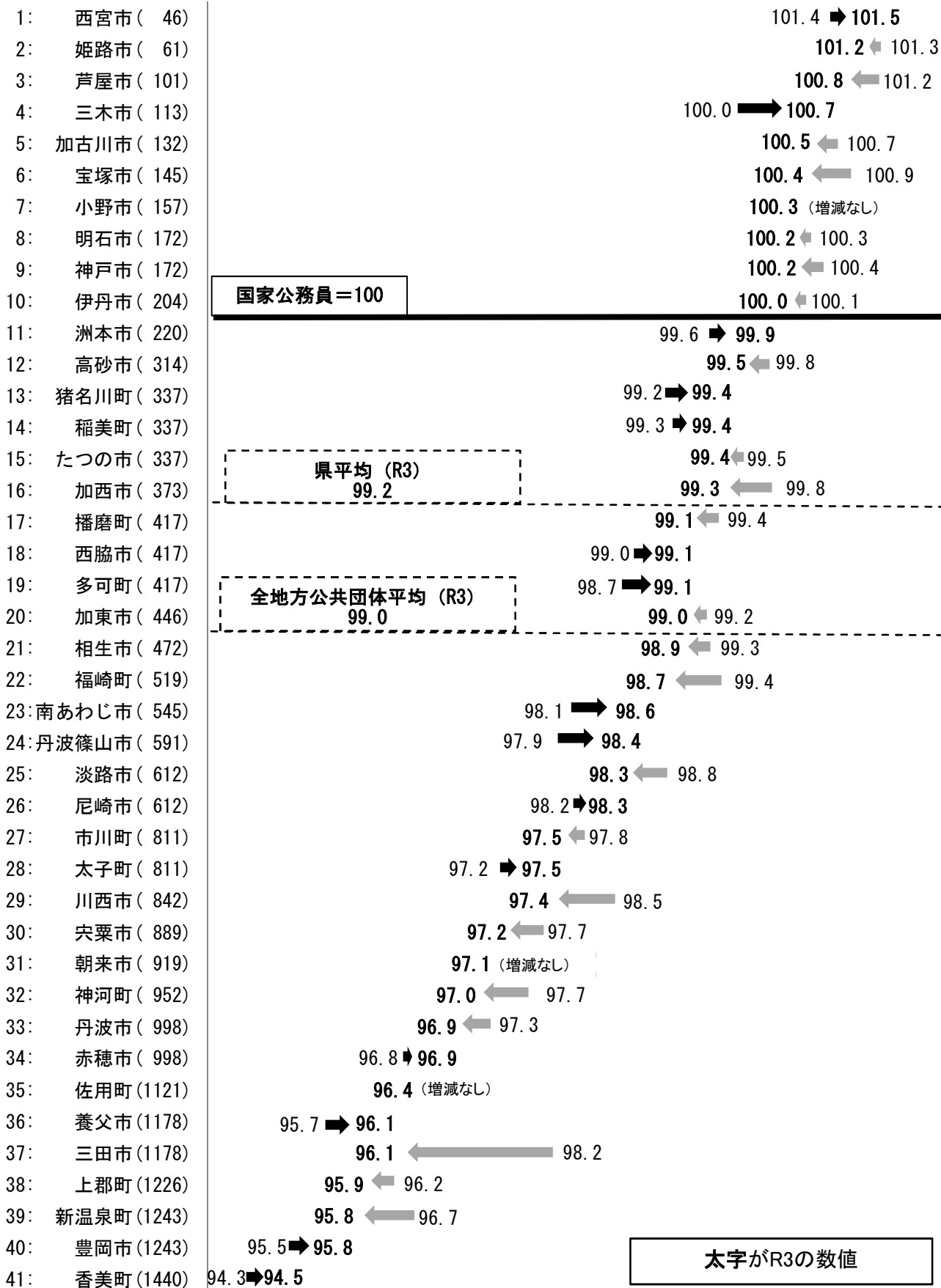


※特別徴収実施率＝給与所得者のうちの特別徴収で納付している人数／給与所得者の納税義務者数

令和3年ラスパイルス指数の対前年比較

- 前年から指数が減少したのは23団体、増加したのは15団体
- 100以上の団体は、前年同様、10団体
- 最も増加したのは三木市(+0.7)

(全国順位)



太字がR3の数値